

平成 29 年度

道徳教育実践研究事業推進校発表会



丹波市立春日中学校

平成 30 年 2 月 5 日

目 次

1	はじめに	・・・ 1
2	研究内容	・・・ 2
	(1) 事業の趣旨	
	(2) 地域・生徒の実態	
	(3) 研究主題	
	(4) 研究主題設定の理由	
	(5) 推進体制・組織の工夫	
	(6) 具体的な研究内容	
	(7) 研究経過	
3	道德教育の全体計画	・・・ 5
4	道德の全体計画別葉作成資料	
	(1) 第1学年	・・・ 6
	(2) 第2学年	・・・ 10
	(3) 第3学年	・・・ 14
5	道德の全体計画別用	
	(1) 第1学年	・・・ 18
	(2) 第2学年	・・・ 22
	(3) 第3学年	・・・ 26
6	道德学習指導案・分析シート・授業記録	
	(1) 第1学年	・・・ 30
	(2) 第2学年	・・・ 42
	(3) 第3学年	・・・ 48
7	ローテーション授業	・・・ 55
8	おわりに	・・・ 57

1 はじめに

学校における道徳教育は、自己の（人間としての）生き方を考え、主体的な判断のもとに行動し、自立した一人の人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする教育活動であり、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の根幹となるものです。このような資質・能力の育成を目指す道徳教育においては、学習指導要領が一部改訂され、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」（道徳科）が実施されることとなっています。

兵庫県では、これまで「心の教育」の充実を図る観点から、「道徳の時間」の学びと道徳的実践の場である体験との関連を図り、調和の取れた道徳教育を推進する取組がすすめられてきました。その際、「兵庫版道徳教育副読本」や「副読本教師用指導書」、「道徳教育指導資料」により道徳教育の充実に取り組むこととされました。

その中に、兵庫県の道徳教育の一層の推進に資するため実践研究を行う推進地域の指定があります。本校は、丹波市立進修小学校とともに、平成29年度道徳教育実践研究事業推進地域の指定を受け、「副読本」及び「私たちの道徳」の効果的な活用を定着させ、学校・地域の課題に合わせた取組等の実践を行い、普及・啓発を行うことや「特別の教科 道徳」の実施に向け、すべての教員の実践的な指導力の向上を図る取組を進めてきました。特に重点的に取り組んだのが指導力の向上を図るためのローテーション授業の実施です。「教材分析シート」を作成し、ひとりの教師が1学年3クラスで順次授業を実施していきました。授業後の研究協議では「教材分析シート」をもとに授業を振り返り、指導案を練り直すことを行いました。このような取組によって指導力は目に見えて向上してきました。

この1年間の取組を通して指導力の向上について手ごたえを感じる事ができました。この度、本年度の取組を研究冊子にまとめましたが、研究はまだまだ始まったばかりです。対話を重視した授業の在り方や「特別の教科 道徳」の評価の方法など、取り組まなければならない課題は山積しています。むしろ来年度以降の取組によって真価が問われると考えているところです。

後になりましたが、本研究の推進に当たりご指導とご助言をいただきました兵庫県教育委員会、丹波市教育委員会、兵庫教育大学大学院谷田増幸教授に感謝申し上げます。

平成30年2月5日

丹波市立春日中学校長 足立 幸広

2 研究内容

(1) 事業の趣旨

本県では、これまで「心の教育」の充実を図る観点から、「道德の時間」（「特別の教科 道德」）の学びと道徳的実践の場である体験の関連を図り、調和の取れた道徳教育を推進するとともに、「兵庫版道徳教育副読本」（以下「副読本」と言う。）及び「副読本教師用指導書」、「道徳教育指導資料」等を作成し、道徳教育の充実に取り組んできた。

そこで、「副読本」及び「私たちの道徳」の効果的な活用を定着させるため、実践研究を行う推進地域を指定し、学校・地域の課題に合わせた取組等の実践を行い、普及・啓発を行うことで、本県の道徳教育の一層の推進に資する。

さらに、「特別の教科 道德」の実施に向け、すべての教員の実践的な指導力の向上を図る。

(2) 地域・生徒の実態

丹波市春日地域は兵庫県の東部、瀬戸内海と日本海のほぼ中間の山間部にある。山や田に囲まれた地域は、旧石器時代から平安時代にかけての遺跡として西日本最古である七日市遺跡や江戸幕府3代将軍徳川家光の乳母「春日の局」生誕の地として有名である。地域内には5小学校1中学校があり、在籍数は、小学校児童560名、中学校生徒289名である。近年は、児童生徒数が減少傾向にある。生徒は明るく素直であるが人間関係を構築する力に課題があり、年齢に応じた社会性やコミュニケーション能力の育成が課題である。さらに、上級学校への進学に対する意識も高いとは言えず、早い時期から進みたい高等学校や将来の自分の「なりたい人間像」を明確に持っている生徒の割合も高いとは言えない。

(3) 研究主題

自己の生き方を考え、よりよく生きることを学ぶ道徳教育の創造

(4) 研究主題設定の理由

・ 小・中学校の児童生徒の実態

小学校では、何事にもまじめに取り組むことができるが、自己肯定感に課題がある。また、中学校では、明るく素直であるが、多様な価値観を持つ生徒との人間関係を構築する力に欠けるところがあり、年齢に応じた社会性やコミュニケーション能力の育成が課題である。

・ 小・中学校の児童生徒に育成する力

自主的、主体的に学び、よりよく生きる力と他者とともによりよく生きる力。

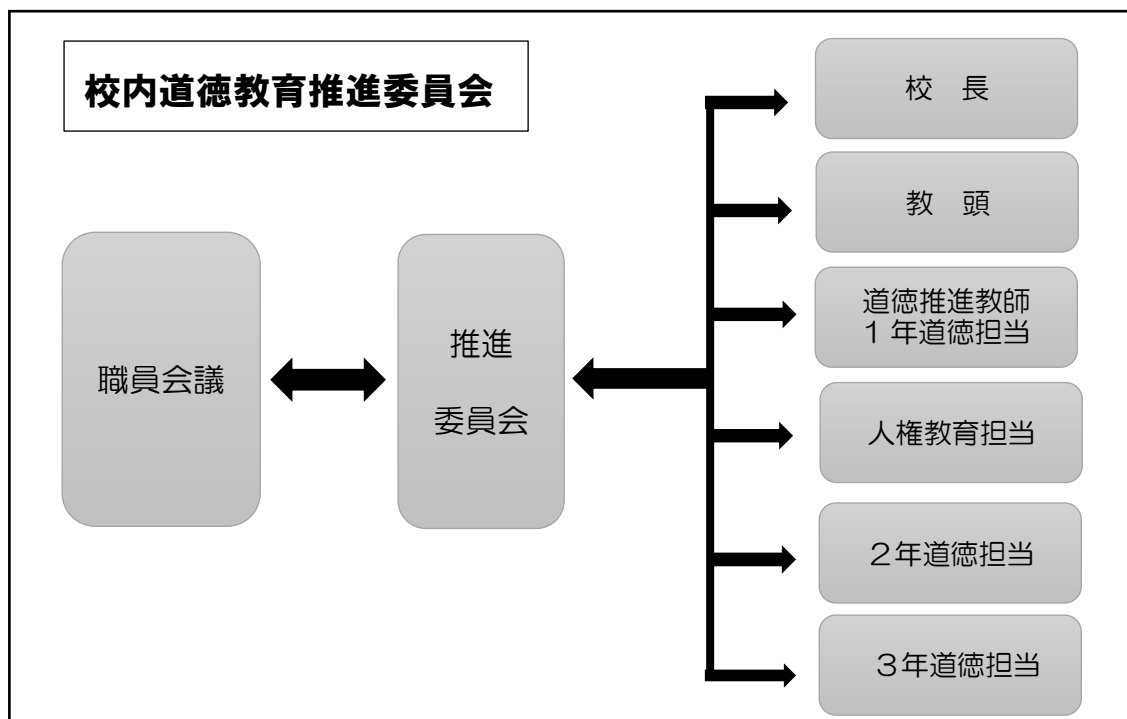
・ 研究の視点

道德の時間を充実させること。生徒の成長を実感し、意欲の向上につながる道徳の評価の研究を行う。小・中連携の在り方を研究する。家庭や地域と連携した取組を推進する。

(5) 推進体制・組織の工夫

校内委員会(道徳教育推進委員会)の設置

- ・ 構 成 員 ・ ・ 道徳教育担当教員(各学年2名で構成するが、道徳推進教員1名、人権教育担当教員1名を含める)と管理職(校長、教頭)の8名で構成した。
- ・ 取組内容 ・ ・ 本年度の道徳教育の推進について協議し、職員会議に提案して全校的に共通実践できるようにした。主な協議内容は、道徳の全体計画の作成、「特別の教科 道徳」の年間指導計画の作成、「教科における道徳教育」の年間指導計画の作成、ローテーション授業実施後の研究協議、教員研修の計画と運営などについてである。



(6) 具体的な研究内容

- ① 「道徳」の全体計画を作成し、別葉として「特別の教科 道徳」の時間及び「教科等における道徳教育」の年間指導計画の作成を行った。
- ② 「兵庫版道徳教育副読本」と「私たちの道徳」を活用した授業方法の研究を行った。特に、「教材分析シート」を活用しローテーション授業に取り組みその際、「対話」により考えを深める授業法を研究した。
- ③ 評価の材料となる「振り返りシート」の作成に取り組んだ。
- ④ 小・中連携として、授業の相互参観や合同教員研修を行った。
- ⑤ 地域・家庭との連携として、オープンスクールの際に道徳の公開授業を行った。
- ⑥ 学校だよりやホームページで道徳教育の取組について情報発信した。

(6) 研究経過

日 付	内 容
6月 2日	第1回道徳教育実践研究連絡会
7月 3日	校内研修会 講師:谷田増幸兵庫教育大学大学院教授
7月 24日	校内委員会
8月 28日	第2回道徳教育実践研究連絡会
9月 22日 ～28日	1年生ローテーション授業実施
10月 12日 ～2日	2年生ローテーション授業実施
10月 12日 ～19日	3年生ローテーション授業実施
11月 20日 ～22日	オープンスクールでの道徳公開授業
1月 29日	第3回道徳教育実践研究連絡会
1月 31日	校内委員会
2月 5日	道徳教育実践研究事業研究発表会

平成 29 年度 道徳教育の全体計画

兵庫県丹波市立春日中学校

学校教育目標

心豊かで自ら学び 夢や目標に向かって努力する生徒の育成
～オール春日で磨き合う学校 チーム春日で支えあう学校～

人権尊重の精神を基盤に、自他のいのちを尊重し、生涯にわたって生きてく力（生きる力）を育む教育を目指し、基礎学力の充実、豊かな心の育成、たくましい体力の伸長を図り、知・徳・体の調和のとれた、主体的に活動する人間性豊かな生徒の育成に努める。

めざす生徒像

学び続ける生徒(自立) 自他を愛する生徒(共生) 挑戦する生徒(チャレンジ)

道徳教育の重点目標

- 1 望ましい生活習慣を身につけ、実践できる人間を育てる。
- 2 主体的に考え、自律的に決断し、責任を持った行動のできる人間を育てる。
- 3 生命の尊さを理解し、自他の生命や生きることのすばらしさを自覚した人間を育てる。
- 4 ものごとに自主的・意欲的に取り組み、友達関係の中で友情と信頼を深め、最後までやり抜く強い意志を持つ人間を育てる。
- 5 他から謙虚に学ぶ広い心を持ち、差別や偏見のないよりよい社会実現のために尽くす人間を育てる。

道徳教育の方針

- 人間尊重の精神を基盤とし、人間としてよりよく生きるための基本的な考え方や行動の仕方を学ばせる。
- 社会の変化に対応した、人間としての在り方について学ばせる。
- さまざまな体験活動を通して、道徳的実践力の向上を図る。
- 人への思いやりと生命に対する畏敬の念を、日々の生活の中に自然と生かせるような道徳心を養う。
- 伝統的な文化に対する関心や理解をするとともに、深い国際感覚を持ち、新しい文化の創造と社会の発展に貢献する力を育てる。

道徳の時間の指導の方針

- 学校教育全般での道徳教育をさらに補充・深化・統合し、生徒一人一人が道徳的価値を内面的にとらえ、人間としての生き方について自覚し、主体的に道徳的実践力を身に付ける時間とする。
- 課題の設定や資料の開発、資料の提示方法を工夫する。特に指導過程においては、生徒の実態に応じた発問や話し合いの方法を工夫する。
- 指導方法の改善に努め、体験学習を生かすなど学習活動の多様化を図る。
- 体験学習を想定した主題や題材を扱う際は、学年や学校全体での指導の協力体制のもと、学級を超えての授業展開を工夫する。

各学年の指導の重点

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生としての基本的な生活習慣を身につけ、共に伸びていこうとする態度を育てる。 ○集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする意欲を高める。 ○地域の文化伝承に親しみ、郷土や国に愛着をもち、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ○人間尊重の精神をもとに、集団における所属感と連帯感を養い、個々の自主性と責任感を高める。 ○人間として一人ひとりの願いを大切にし、自己の力で不合理的な問題を解決していこうとする意欲や態度を養う。 ○学校や家庭及び地域社会に目を向けながら差別や人権問題についての科学的な理解を深め差別解消に取り組む力を育てる。 ○日本の文化・伝統に理解を深め、世界の中の一員として自覚と誇りを持ち、国際社会の発展に貢献しようとする心情を養う。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ○自己を見つめ、社会を見つめながら自分の生き方を考え、主体的に判断し行動できる能力や態度を育成する。 ○生命の尊さを理解し、生命に対する畏敬の念をもち続けようとする心情を養う。 ○基本的人権の尊重についての理解を深め、理想を迫り、よりよい自己や社会を築こうとする態度を養う。 ○文化・伝統に理解と誇りを持ち、郷土の建設に貢献しようとする意欲を養うとともに、幅広い国際感覚を身に付け、よりよい社会の実現に向け努力しようとする態度を育てる。

生徒の実態
保護者や地域の人々の願い
現代社会の課題と要請
教職員の願い

特別活動における道徳教育の指導の方針

- 特別活動における「体験的な活動」を道徳の時間の指導に密接に関連させ、双方の特質を生かしながら、好ましい人間関係や規範意識を育てる。また、実践活動の中で触れた道徳的価値について、その意義を自覚し、さらなる実践意欲の醸成に努める。
- <学級活動>
 - 学級集団の一員としての自覚の下に、話し合い活動を中心とした望ましい集団生活や人間関係構築のための具体的な問題解決を図り、健康安全や進路選択、学業、心の内面の問題等の指導に努める。
- <生徒会活動>
 - 生徒の異年齢集団である生徒会の自発的・自治的な活動を通じて、学校生活の充実と改善・向上を図る。特に活動の中で体験した道徳的行為や価値について、道徳の時間と密接な関連を図り、道徳的実践力を高める。
- <学校行事>
 - 学校生活に秩序と変化を与え、集団への帰属感を深めるとともに、学校生活の充実・発展に資する体験的活動を行う。特に、各種ボランティア活動を取り入れ、社会的な体験を深め、思いやりの心や奉仕の精神を学ばせるとともに、公德心を養う。

生徒指導の方針

- 教師と生徒、生徒相互の心の交流に努め、特に、教師と生徒の間の受容と共感による信頼関係の醸成に努める。また、生徒相互の人間関係の基礎となる、認め合い学び合う関係を築く機会と場を、積極的に設ける。
- 生徒理解のために生徒の声を「聴く」機会の場の設定に努め、内面理解を深める工夫をする。
- 基本的な生活習慣の形成と規範意識の育成のため、生徒の創意を生かした活動場面を設営し細かな指導を行う。
- 問題に直面した生徒の指導には、学校全体の支援体制を作り対応する。
- 家庭・地域・学校を一体化し、情報の共有と、望ましい心の教育について共通認識をもつよう努める。

家庭・地域等との連携の方針

- 学校・家庭・地域が一丸となって連携し、道徳的価値に目覚めた自主的・自発的・自律的な生徒を育てるための情報や援助方法を共有する。
- 情報開示を原則として、定期的に道徳授業等を公開する。
- 学校・保護者・PTA・その他機関との連携を構築して、生徒の豊かな体験の機会と場を広げるとともに、保護者の子育て支援を図る。
- 地域の小学校や他校との情報交換や連携を密にするために、連絡会・交流会を実施する。

特色ある教育活動の方針

- 体験学習の一環として、特別支援学校との交流やボランティア活動を、年間指導計画に即し、関係機関と連携して実施する。
- 毎朝、始業開始前の15分間を読書の時間として位置づけ、全校を挙げて内省の時間とする。

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県教育委員会の教育目標
市教育委員会の教育目標
児童憲章
人権宣言

各教科における道徳教育の指導の方針

- 道徳教育に関わる側面を明確にとらえて指導し、道徳教育のいっそうの効果向上を図る。
- 【国語】
文学作品から人生の喜びや苦悩を疑似体験価値ある生き方と感性を豊かにする。
- 【社会】
憲法に保証された人権尊重の精神を自覚し、差別や偏見のない社会を築く態度を育てる。
- 【数学】
数量や図形などに関する原理・法則への理解を深め、事象を数理的に考察し表現する態度を育てる。
- 【理科】
自然と人との関わりを基盤に、科学的に追求する姿勢を身につける。
- 【音楽】
音楽を愛好する心情を育むことで、音楽文化を理解し豊かな情操を養う。
- 【美術】
心豊かな生活を創造する意欲と態度を高める、豊かな情操を養う。
- 【技家】
生活と技家の関わりについて理解を深め、生活を豊かにしていく。
- 【保体】
心と体を一体ととらえ、生涯に渡って健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する。
- 【英語】
言語や文化への理解を深め、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する。

総合的な学習の時間における道徳教育の指導の方針

- 問題解決や探究活動を主体として、環境・福祉・健康・情報・国際理解等の社会的課題に、体験的・実証的・創造的に取り組み、学ぼうとする自己開発力を育てる。
- 道徳の時間と連携して、自然体験やボランティア活動などの社会体験の場を設け、実践的態度を育てる。
- 地域の人々の協力を仰ぎ、グループ学習や異年齢集団による学習等を工夫し、多様な人間関係の中で道徳的価値のさらなる内面化を図る。
- 地域との連携を図り、ゲストティーチャー等を招き、幅広い人材との出会いの場を広げる。

教育環境の整備の方針

- 生徒の「心の居場所」となる生活・学習環境の構築と整備に努める。
- 学級・学校の文化的風土の基盤となる言語環境を構築し、展示・放送・新聞等、ICT環境の設営及び機能の活用を努める。
- 校庭・校舎内における飼育栽培の促進と整備に努めて季節感のある自然環境を作り、また、整理整頓を徹底して、清潔な環境保持に留意する。
- 生命保持に関する安全な環境の設営にも留意し、生徒の通学・在学中の安全保全について、地域や関係機関との連携はもとより、学校内の警備体制とチェック機能の充実整備に努める。

道徳の全体計画別業作成資料 中学校1学年 (その1)

教科他/月		4月	5月	6月	7月	9月
道徳	年間35時間	資料6 1 教室は間違るところだ 価値 A-2 節度、節制	4 平和集会 C-18 国際理解、国際貢献	7 自分以下を求める心 C-11 公平、公正、社会正義	10 ちがいのちがい B-9 相互理解、寛容	13 人権作文朗読会 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実
	1時間/週	資料6 2 「1秒の言葉」 価値 B-7 礼儀	5 春樹が朝、目覚めて考えたこと B-6 思いやり、感謝	8 伝えたい、君に A-3 向上心、個性の伸長	11 人権作文優秀作品 C-10 遵法精神、公德心	14 まだ暮はあがらない C-13 勤労
		資料6 3 七球目 価値 B-8 友情、信頼	6 銀色のシャープペンシル D-22 よりよく生きる喜び	9 地域人権教育事業呼びかけ C-10 遵法精神、公德心	12 ほんとうのカッコよさ A-3 向上心、個性の伸長	15 夢への扉を開ける鍵 A-5 真理の探究、創造
	資料6					
	資料6					
	資料6					
	資料6					
	資料6					
資料6						
学校行事		入学式 A-2 B-7 身体測定 A-2 避難訓練 A-2 D-19	校医検診 D-19 1学期中間考査 A-4 教育相談 A-3	市総体 A-4 B-6 歯科検診 D-19 1学期期末考査 A-4	1学期終業式 A-2 B-7 地区総体 A-4 B-6 県総体 A-4 B-6	2学期始業式 A-2 B-7 体育祭 A-2 A-4 C-10 C-15 市新人総体 A-4 B-6 地区新人総体 A-4 B-6
特別活動	年間35時間 1時間/週	新入生歓迎会 B-6 新入生オリエンテーション A-2 活動委員会 C-15 新年度目標(1学期の目標)の設定 A-4 新年度組織の決定 C-15	生徒会総会 A-1 C-15 自分の個性を考える A-3	総体社行会 B-6 活動委員会 C-15 健康で安全な生活 A-2	活動委員会 C-15 1学期の反省と夏休みの生活 A-2	2学期の目標設定 A-4 活動委員会 C-15 生徒会役員選挙立候補 A-1 C-15 望ましい学習の進め方 A-2
総合的な学習の時間	年間50時間	※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、カリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。				
教科 時		4月	5月	6月	7月	9月
国語	年間140時間 4時間/週	『風の五線譜』 A-3 『話し方はどうかな』 B-7 『日本語探検-1』 『詩の心-発見の喜び』 A-5 D-20 『小さな発見を詩にしよう』 A-3	『文法の窓-1』(文法とは・言葉の単位) 『飛べかもめ』 D-20 『さんちき』 A-3 A-4 A-5 『漢字道場-1』	『会話が弾む質問をしよう』 B-7 『オオカミを見る目』 A-5 『日本語探検-2』 『文法の窓-2』(文の成分・連文節) 『漢字道場-2』 『構成を考えて書こう』 A-4	『構成を考えて書こう』 『碑』 C-14 C-18 D-19	『スズメは本当に減っているか』 D-20 『文法の窓-3』(単語の分類) 『古典の世界』 C-16 『伊曽保物語』 A-2 B-6 『竹取物語』 D-20 『矛盾』 A-1 B-7 『漢字道場-3』 C-17
	地理	年間105時間 3時間/週	『1世界の姿』 C-18 D-20 『2世界各地の人々の生活と環境』 C-17 C-18 D-20	『3世界の諸地域』 『世界の諸地域を学ぶにあたって』 『1アジア州』 D-20 C-17 C-18 『2ヨーロッパ州』 C-18 D-20	『3世界の諸地域』 『3アフリカ州』 C-11 C-18	『3世界の諸地域』 『4北アメリカ州』 C-11 C-18 D-20
数学 A-5	年間140時間 4時間/週	『1正の数・負の数』 『1正の数・負の数』 『2正の数・負の数の計算』	『1正の数・負の数』 『2正の数・負の数の計算』	『1正の数・負の数』 『2正の数・負の数の計算』 『3正の数・負の数の利用』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』 『2文字の式』 『1文字を使った式』 『2文字式の計算』	『2文字の式』 『2文字式の計算』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』	『3方程式』 『1方程式』 『2方程式の利用』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』
理科	年間105時間 3時間/週	『自然の中に生命の営みを見つけてみよう』 C-16 D-19 D-20 『植物のくらしとなかまと』 『植物という「いきもの」』 D-20 『1花のつくりとはたらき』 D-20	『植物のくらしとなかまと』 『2水や栄養分を運ぶしくみ』 D-20 『3栄養分をつくるしくみ』 D-20	『植物のくらしとなかまと』 『4植物のなかま分け』 D-20 『力だめし』 『身のまわりの物質』 『窓に利用されるもの』	『身のまわりの物質』 『1いろいろな物質とその性質』 A-5 『2いろいろな気体とその性質』 A-5	『身のまわりの物質』 『2いろいろな気体とその性質』 『3水溶液の性質』 A-5 『4物質のすがたとその変化』 A-5
英語	年間140時間 4時間/週	Hi, English! B-7 U0「アルファベット」 学び方コーナー1 英語の歌1 A-2 B-7 C-18	U1「はじめまして」 A-1 B-6 B-7 学び方コーナー2 U2「学校で」 B-7 B-8 C-15	まとめと練習1 学び方コーナー3 U3「わたしの好きなこと」 A-2 B-7 B-8 まとめと練習2 LA1「何のCM?」 U4「ホームパーティー」 B-7 C-15 D-19	学び方コーナー4 P1「自己紹介」 英語の歌2 B-7 B-8	U5「学校の文化祭」 A-4 C-15 DS1「体調をたずねる」 A-2 B-6 U6「オーストラリアの兄」 C-13 C-14

10月	11月	12月	1月	2月	3月
16 ひとすじの道 B-6 思いやり、感謝	20 キャッチボール C-10 遵法精神、公德心	23 明珍火箸 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	26 語り掛ける目 D-19 生命の尊さ	28 お手玉 C-12 社会参画、公共の精神	33 自然のすばらしさ D-21 感動、畏敬の念
17 平和映画鑑賞会(1) C-18 国際理解、国際貢献	21 デンさん A-1 自主、自律、自由と責任	24 母の涙 C-14 家族愛、家庭生活の充実	27 山に来る資格がない A-2 節度、節制	29 六色の村(1) C-11 公平、公正、社会正義	34 五色桜 C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
18 平和映画鑑賞会(2) C-18 国際理解、国際貢献	22 葉鶏頭の季節 B-8 友情、信頼	25 自然に抱かれてこそ D-20 自然愛護		30 六色の村(2) C-11 公平、公正、社会正義	35 一年間の反省
19 合唱コンクール C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実				31 六色の村(3) C-11 公平、公正、社会正義	
				32 楽しいことをやり続けることで夢がかなう A-4 希望と勇気、克己と強い意志	
文化祭 A-1 A-3 合唱コンクール A-4 D-20 C-15 2学期期末考査 A-4 2学期中間考査 A-4	市連合音楽会 A-4 D-20 C-15 2学期期末考査 A-4 教育相談 A-3	2学期終業式 A-2 B-7 募金活動 B-6 2学期の反省と冬休みの生活 A-2	3学期始業式 A-2 B-7 1年スキー学校 A-2 A-4 C-10 C-15 避難訓練 A-2 D-19	学年末考査 A-4	卒業式 B-7 C-15 修了式 A-2 B-7 離任式 C-15
活動委員会 C-15 委員・係活動の見直し A-1	活動委員会 C-15 職業調べ C-13	活動委員会 C-15 募金活動 B-6 2学期の反省と冬休みの生活 A-2	3月期の目標設定 A-4 生徒会総会 A-1 C-15 新年の抱負 A-4	活動委員会 C-15 上級学校について知ろう A-3	3年生を送る会 B-6 活動委員会 C-15 1年間をふりかえって A-4 A-3
※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、カリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
『案内や報告の文章を書こう』 A-2 B-7 D-20 「漢字道場-4」 「文法の窓-4」(名詞)	『少年の日の思い出』 A-1 B-8 D-21	『日本語探検-3』 「漢字道場-5」 「集まって住む」 C-15	『ニュースの見方を考えよう』 A-5 「学校新聞の記事を書こう」 A-2 B-7 D-20 「漢字道場-6」 「文法の窓-5」(連体詞・副詞・接続詞・感動詞)	『話し合いで理解を深めよう』 B-7 B-9 「作品のよさを表現しよう」 B-7	『名づけられた業』 D-20 D-21 D-22 「トロロコ」 A-3
『3世界の諸地域』 「6 オセアニア州」 C-11 C-18 D-20 「4 世界のさまざまな地域の調査」 A-5 B-7 C-18	『1 日本の姿』 C-16 C-17 『2 世界と比べた日本の地域的特色』 「1 自然環境の特色」 C-17 C-18 D-20 「2 人口の特色」 C-17 C-18 「3 資源や産業の特色」 C-15 C-17 C-18 D-20 「4 地域間の結びつきの特色」 C-17 C-18	『3 日本の諸地域』 「日本の諸地域を学ぶにあたって」 C-17 「1 九州地方」 D-20 C-15 C-16 C-17	『3 日本の諸地域』 「2 中国・四国地方」 C-15 C-16 C-17 D-20	『3 日本の諸地域』 「3 近畿地方」 C-15 C-16 C-17 D-20 「4 中部地方」 C-15 C-16 C-17 D-20	『3 日本の諸地域』 「5 関東地方」 C-15 C-16 C-17 D-20
『4 変化と対応』 「1 開数」 「2 比例」 「3 反比例」	『4 変化と対応』 「3 反比例」 「4 比例、反比例の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『5 平面図形』 「1 直線図形と移動」 「2 基本の作図」	『5 平面図形』 「2 基本の作図」 「3 円とおうぎ形」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」	『6 空間図形』 「1 立体と空間図形」 「2 立体の表面積と体積」	『6 空間図形』 「2 立体の表面積と体積」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『7 資料の活用』 「1 資料の傾向を調べよう」	『7 資料の活用』 「1 資料の傾向を調べよう」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」
『身のまわりの物質』 「4 物質のすがたとその変化」 「力だめし」 『光・音・力による現象』 「身のまわりには、どのようなみがかくされているのだろうか」	『光・音・力による現象』 「1 光による現象」 A-5 「2 音による現象」 A-5	『光・音・力による現象』 「3 力による現象」 A-5	『光・音・力による現象』 「3 力による現象」 「力だめし」 『活きている地球』 「地球内部の謎にせまらる」 C-16 D-20 D-21	『活きている地球』 「大地がゆれる」 D-20 D-21 「大地が火をふく」 D-19 D-20 D-21 「3 大地は語る」 D-20 D-21	『活きている地球』 「3 大地は語る」 「力だめし」 予備時間 8時間
DS2 「電話の会話」 B-6 まとめと練習3 LA2 「友達のプロフィール」 B-7 U7 「ブラジルから来たサッカーコーチ」 B-9 DS3 「グリーンティングカード」 B-6 B-8	U8 「イギリスの本」 B-9 DS4 「ウェブサイト」 C-10 C-15 まとめと練習4 学び方コーナー5 U9 「チャイナタウンへ行こう」 C-13	DS5 「道案内」 B-6 B-7 C-15 まとめと練習5 LA3 「電車のトラブル発生」 C-10 C-15 P2 「一日の生活」 A-1 A-2	U10 「あこがれのポストン」 B-8 D-20 DS6 「ちょっとお願い」 B-7 C-14 まとめと練習6	学び方コーナー6 U11 「思い出の一年」 C-17 DS7 「絵はがき」 B-7 B-6 まとめと練習7	LA4 「休暇中の出来事」 P3 「思い出の行事」 B-8 C-15 LR 「The Restaurant with Many Orders」 D-20 D-22

道徳の全体計画別業作成資料 中学校1学年 (その2)

教科		時間	4月	5月	6月	7月	9月
音楽	一般	年間 45 時間 1.3時間/週	『新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう』 「We'll Find The Way ~はるかな道へ」 A-4 「朝の風に」 C-15	『曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう』 「主人は冷たい土の中に」 B-6 「浜辺の歌」 D-20 「Forever」 A-4	『イメージと音楽とのかかわりを感じ取る』 「いつか」 A-4	『音楽の特徴から情景を想像しよう』 「春 第一楽章」 D-20 「Unlimited」 A-4	『曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう』 「エーデルワイス」 C-18 「Michael, Row The Boat Ashore」 D-20 「てのひら」 A-4
	器楽						『リコーダーを演奏しよう』 アルトリコーダー LESSON1 「曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう」 「聖者の行進」 C-18
美術		年間 45 時間 1.3時間/週	『出会って広げよう』 「図画工作、そして…美術へ」 A-3 「モダンテクニック」 A-3	『見て感じて、描く/鉛筆で描く』 A-4	「なぜか気になる情景/水彩で描く/遠近感を表す」 A-5 「デザインの扉を開こう」 B-6 B-8 B-9	「一枚の紙から広がる世界」 A-4 「鑑賞との出会い」 B-9	「楽しく伝える文字のデザイン/自然界や身の回りにある形や色/三原色から生まれる色/色を学ぶ」 A-5 B-6 C-13
保健体育		年間 105 時間 3時間/週	【体育編】 『1 運動やスポーツの多様性』 「1 運動やスポーツの必要性と楽しさ」 『2 運動やスポーツへの多様なかわり方』 A-4 B-8 C-13	【体育編】 『1 運動やスポーツの多様性』 「3 運動やスポーツの学び方」 C-15 【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 「1 体の発育・発達」	【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 「2 呼吸器官・循環器官の発育・発達」 A-2 「3 生命を生み出す体への成熟」 B-8 D-19 「4 思春期の心の変化への対応」 A-1 B-8		
技術		年間 35 時間 1時間/週	「ガイダンス」 A-4 D-20 C-12 C-17	『A 材料と加工に関する技術』 「1 ものづくりの視点と進め方」 C-10 D-20 「2 材料」 C-12 D-20	『A 材料と加工に関する技術』 「2 材料」 「3 設計」 A-1 □	『A 材料と加工に関する技術』 「3 設計」 「4 実習例」	『A 材料と加工に関する技術』 「5 木材による製作」 A-1 C-10 C-12 C-17 「6 金属・プラスチックによる製作」 A-1 C-10 C-13 C-17
家庭		年間 35 時間 1時間/週	「家庭分野のガイダンス」 A-1 A-5 C-12 C-13 C-17 D-20	『2 私たちの衣生活と住生活』 「1 衣生活と自立」 ・衣服の働き A-2 B-7 ・目的に応じた着用 B-7 C-15 ・個性を生かす服装 A-2 B-7 ・資料「和服の文化に触れよう」 C-16 C-17 C-18 ・衣服計画・既製服の選択と購入 A-2 A-1	『2 私たちの衣生活と住生活』 「1 衣生活と自立」 ・衣服の手入れ B-7	『2 私たちの衣生活と住生活』 「1 衣生活と自立」 ・衣服の手入れ B-7 ・よりよい衣生活 A-2 B-7	『1 私たちの食生活』 「1 食生活と栄養」 ・食事の役割 A-1 C-17 ・健康に良い食習慣 A-1 A-2 C-14 ・中学生に必要な栄養素 A-1 A-2

10月	11月	12月	1月	2月	3月
『詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう』 「魔王」 D-19 「夢を追いかけて」 A-4	『曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう』 「パフ」 C-15 「飛びだそう 未来へ」 A-4 「星座」 A-4	『日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう』 「日本の民謡」 C-16 「アジアの諸民族の音楽」 C-18 「ソーラン節」 C-16 「マイ パラード」 B-8	『日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう』 「赤とんぼ」 B-6 「ふるさと」 C-16 C-17 「夕焼小焼」 D-21 「君が代」 C-17 「黒鷲鈴墓」 C-17	『箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう』 「六段の調」 C-17 「青春の1ページ」 A-4	『仲間とともに、表情豊かに合唱しよう』 「カリブ 夢の旅」 A-4 「Let's Search For Tomorrow」 A-4 「あすという日が」 A-4
『篠笛を演奏しよう』 「たこたこあがれ」、 「ほたるこい」 C-16 C-17			『箏を演奏しよう』 「虫づくし」、「姫松」、 「さくらさくら」 「箏を平調子に調弦して旋律をつくろう」 My Melody C-16 C-17		
『使いたくなる焼き物を作ろう／き物をつくる』 B-6 C-17	『暮らしに息づく木の命／木工の技法』 B-6 C-17 D-20	『身近な人を見つめて／私が見つけた物語』 B-6		『身近なものを立体で表そう』 A-4	
【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 「5 考える心・感動する心の発達」 A-1 A-2 「6 人とのかかわりと自分らしさ」 A-1 A-3 C-15	【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 「7 欲求への対処」 A-3 「8 ストレスへの対処」 A-2 B-8 C-14 「9 心と体のかかわり」 A-2				
『A 材料と加工に関する技術』 「5 木材による製作」 「6 金属・プラスチックによる製作」	『A 材料と加工に関する技術』 「5 木材による製作」 「6 金属・プラスチックによる製作」	『A 材料と加工に関する技術』 「5 木材による製作」 「6 金属・プラスチックによる製作」	『A 材料と加工に関する技術』 「5 木材による製作」 「6 金属・プラスチックによる製作」 「7 材料と加工に関する技術の評価・活用」 A-5 D-20	『C 生物育成に関する技術』 「1 わたしたちの生活と生物育成」 D-20 「2 生物の育成」 D-20 「4 実習例」	『C 生物育成に関する技術』 「2 生物の育成」 「4 実習例」
『1 私たちの食生活』 「2 献立作りと食品の選択」 ・食品群別摂取量の目安 A-1 A-2 ・献立作り A-1 A-2 B-6	『1 私たちの食生活』 「2 献立作りと食品の選択」 ・資料「和食」 C-17 ・食品の選択と購入 A-1 A-2 B-6	『選択』 「生活の課題と実践」 ・行事食を調べよう A-5 B-7 C-16 C-17	『1 私たちの食生活』 「3 調理と食文化」 ・調理の基礎技能 A-1 A-2 B-6 C-15 C-16 C-17	『1 私たちの食生活』 「3 調理と食文化」 ・日常食の調理 A-1 A-2 B-6 C-15 C-16 C-17	『1 私たちの食生活』 「3 調理と食文化」 ・日常食の調理

道徳の全体計画別業作成資料 中学校2学年（その1）

教科他/月		4月	5月	6月	7月	9月
道徳 年間35時間 1時間/週	資料4	1 本当のあいさつ	4 カストーディアルに学ぶ	8 伝えたい君に	11 私の存在	14 人権作文朗読会
	価値	B-7 礼儀	C-13 勤労	A-3 向上心、個性の伸長	C-15 集団生活の向上	C-11 公正、公平、社会正義
	資料4	2 クリームパン	5 平和集会	9 僕たちの出発（たびだち）	12 人権作文優秀作品	15 ネパールのビール
	価値	A-5 真理の探究、創造	C-18 国際理解、国際貢献	B-6 思いやり、感謝	C-10 遵法精神、公德心	A-1 自主、自律、自由と責任
	資料4	3 守りたいものは	6 風の歌が聴きたい	10 地域人権教育事業呼びかけ	13 母の反撃	
	価値	C-10 遵法精神、公德心	B-9 相互理解、寛容	C-12 社会参画、公共の精神	C-14 家族愛、家庭生活の充実	
学校行事	資料4	1 学期始業式 A-4 B-7 入学式 A-4 B-7 身体測定 A-2 避難訓練 A-2 D-19	校医検診 D-19 1 学期中間考査 A-4 教育相談 A-3	トライやる・ウィーク A-3 B-7 C-12 C-13 C-16 D-22 市総体 A-4 B-6 歯科検診 D-19 1 学期期末考査 A-4	1 学期終業式 A-4 B-7 地区総体 A-4 B-6 県総体 A-4 B-6	2 学期始業式 A-2 B-7 体育祭 A-2 A-4 C-10 C-15 市新人総体 A-4 B-6 地区新人総体 A-4 B-6
	価値					
特別活動	年間35時間 1時間/週	新入生歓迎会 B-6 活動委員会 C-15 新年度目標（1 学期の目標）の設定 A-4 新年度組織の決定 C-15	生徒会総会 A-1 C-15 進路適性を考える A-3 生活上の悩みの解消 A-2	総体壮行会 B-6 活動委員会 C-15 健康で安全な生活 A-2	活動委員会 C-15 1 学期の反省と夏休みの生活 A-2	2 学期の目標設定 A-4 活動委員会 C-15 自主的な学習の進め方 A-2 A-1
	総合的な学習の時間 10 時間	※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、カリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。				
教科	時間	4月	5月	6月	7月	9月
国語	年間140時間 4時間/週	『未来へ』 A-4 D-22 「メッセージをどう聞かか」 「短歌を楽しむ」 「短歌のリズムで表現しよう」 A-3	『日本語探検-1』 「文法の窓-1」（敬語） 「字のない葉書」 C-14 「卒業ホームラン」 A-4 C-11 C-14 「問題意識を持って聞こう」 A-5 「漢字道場-1」	「鑑節-世界に誇る伝統食」 C-16 「調べて考えたことを伝えよう-『食文化』のレポート」 C-16	「調べて考えたことを伝えよう-『食文化』のレポート」 A-5 「文法の窓-2」（用言の活用） 「漢字道場-2」 「小さな労働者」 B-6 C-11 C-12	「哲学的思考のすすめ」 A-3 「反対意見を想定して書こう」 A-1 B-7 「説得力のある提案をしよう-プレゼンテーション」 A-2 B-7
	社会	年間105時間 3時間/週	『3 日本の諸地域』 「6 東北地方」 C-15 C-16 C-17 D-20 「7 北海道地方」 C-15 C-16 C-17 D-20 『4 身近な地域の調査』 B-7 C-16	『歴史との出会い』 「1 歴史のとらえ方」 A-5 C-16 C-17 「2 古代までの日本」 「導入」	『2 古代までの日本』 「1 人類の始まりと文明」 C-18 「2 日本列島の人々と国家の形成」	『2 古代までの日本』 「3 古代国家の展開」
数学 A-5		年間105時間 3時間/週	『1 式の計算』 「1 式の計算」	『1 式の計算』 『2 文字式の利用』 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『2 連立方程式』 「1 連立方程式」	『2 連立方程式』 「1 連立方程式」 『2 連立方程式の利用』 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『3 一次関数』 「1 一次関数とグラフ」	『3 一次関数』 「1 一次関数とグラフ」 『2 一次関数と方程式』 「2 一次関数と方程式」
理科	年間140時間 4時間/週	『化学変化と原子・分子』 「銀をつくる粒子」 A-5 「1 物質の成り立ち」 A-5	『化学変化と原子・分子』 「2 物質を表す記号」 A-5 「3 さまざまな化学変化」 A-5	『化学変化と原子・分子』 「4 化学変化と物質の質量」 A-5 「力だめし」 『動物の生活と生物の進化』 「生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 D-20 D-21	『動物の生活と生物の進化』 「1 生物の体と細胞」 D-19 D-20 D-21 「2 生命を維持するはたらき」 D-19 D-20 D-21 「5 生物の移り変わり」と進化」 D-20 D-21	『動物の生活と生物の進化』 「3 感覚と運動のしくみ」 D-19 D-20 D-21 「4 動物のなまかま」 D-19 D-20 D-21 「5 生物の移り変わり」と進化」 D-20 D-21
	英語	年間140時間 4時間/週	U0 [My Spring Vacation] D-20 U1 [A Friend in a Sister School] A1 「休暇の思い出」 A2 「好みは変わる？」 B-7 B-6 C-11 C-17	DS1 「日記」 B-7 U2 [A Trip to the U.K.] A1 「海外旅行」 A2 「夏休みの旅行計画」 B-7 B-8 C-17 DS2 「ていねいにお願ひ」 B-7 B-8	まとめと練習1 学び方コーナー1 U3 [Career Day] A-1 B-6 B-7 C-12 C-13 A1 「仕事紹介」 A2 「夢の世界旅行」 DS 「メール」 A-1 B-7 B-8	まとめと練習2 英語の歌 P1 「将来の夢」 B-7 B-9 C-15 C-13

10月	11月	12月	1月	2月	3月
16 自然に感動する心 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実	19 近代国家の歩みの中で C-11 公平、公正、社会正義	23 わからないことの大切さ A-3 向上心、個性の伸長	26 釜石からの発信 D-19 生命の尊重	30 いつわりのバイオリン D-22 よりよく生きる喜び	33 I am Korean C-18 国際理解、国際貢献
17 体力も精神力も鍛えられて強くなった-山本浩二- A-4 希望と勇気、克己と強い意志	20 平和映画鑑賞会① C-18 国際理解、国際貢献	24 ひとすじの道-城ノブ- B-6 思いやり、感謝	17 瑠璃色の星 D-20 感動、畏敬の念	31 祖父への卒業証書 C-12 社会参画、公共の精神	34 手塚作品を貫くもの-手塚治虫- D-19 生命の尊さ
18 タイムトラベラーゆきの冒険 C-11 公平、公正、社会正義	21 平和映画鑑賞会② C-18 国際理解、国際貢献	25 甲子園でプレーがしたい B-8 友情、信頼	28 洋子の播州歌舞伎 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	32 戦場の知事 島田さん A-4 希望と勇気、克己と強い意志	35 1年間の反省 全
	22 僕のたびだち A-2 節度、節制		29 始業式の朝 B-8 友情、信頼		
文化祭 A-1 A-3 合唱コンクール A-4 D-20 C-15 2学期中間考査 A-4	市連合音楽会 A-4 D-20 C-15 2学期期末考査 A-4 教育相談 A-3	2学期終業式 A-2 B-7	3学期始業式 A-2 B-7 避難訓練 A-2 D-19	学年末考査 A-4	卒業式 B-7 C-15 修了式 A-2 B-7 離任式 C-15
活動委員会 C-15 委員・係活動の見直し A-1	活動委員会 C-15 生徒会役員選挙立候補 A-1 C-15	活動委員会 C-15 募金活動 B-6 2学期の反省と冬休みの生活 A-2	3学期の目標設定 A-4 生徒会総会 A-1 C-15 新年の抱負 A-4 入試制度について知ろう A-4 A-3	活動委員会 C-15 男女の協力 B-8	3年生を送る会 B-6 活動委員会 C-15 1年間をふりかえって A-4 A-3

※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、カリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
「文法の窓-3」(助詞) 「漢字道場-3」 「落葉松」 D-20 D-22 「枕草子、徒然草」 A-5 D-20 「平家物語」 A-1 A-4 D-19 「漢詩」 A-1 A-5	「依頼状やお礼状を書こう」 B-7 「日本語探検-2」 「文法の窓-4」(助動詞) 「走れメロス」 B-6 B-8 C-11 D-19 「日本語探検-4」	「漢字道場-4」 「依頼状やお礼状を書こう」 B-7 「歴史の物差し-水月湖の年稿」 D-20 D-21	「『正しい』言葉は信じられるか」 A-2 A-5 B-7 「タウン誌の記事を推敲しよう」 A-5 B-7	「話し合いで問題を検討しよう-リンクマップによる話し合い」 A-3 A-5 B-7 B-9 「いきいきと描き出そう-短歌から始める物語」 A-3 「漢字道場-4」	「わたしが一番きれいだったとき」 C-18 「坊っちゃん」 A-1 A-3 B-6 「カメレオン」 A-1 C-11
『3 中世の日本』 『2 室町幕府と下剋上』 C-11	『4 近世の日本』 「導入」 「1 中世から近世へ」 『2 江戸幕府の成立と東アジア』 C-11 C-17 C-18	『4 近世の日本』 『3 産業の発達と元禄文化』 C-11 C-17 『4 幕府政治の改革と農村の変化』 A-5 C-11 C-13	『5 近代の日本と世界』 『1 日本の近代化』 「導入」 『吹米の発展とアジアの植民地化』 C-11 C-18 『2 近世から近代へ』 C-11 C-17 C-18	『5 近代の日本と世界』 『1 日本の近代化』 『3 近代国家へのあゆみ』 C-11 C-17 C-18 『4 立憲制国家の成立』 C-10 C-11 C-17	『5 近代の日本と世界』 『1 日本の近代化』 『5 日清・日露の戦争と東アジアの動き』 C-11 C-17 C-18 『6 近代日本の社会と文化』 A-5 C-11 C-12 C-17
『4 図形の調べ方』 「1 平行と合同」	『4 図形の調べ方』 「1 平行と合同」 「2 証明」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」	『5 図形の性質と証明』 「1 三角形」	『5 図形の性質と証明』 「2 四角形」	『5 図形の性質と証明』 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『6 確率』 「1 確率の意味」 「2 場合の数と確率」	『6 確率』 「2 場合の数と確率」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」
『動物の生活と生物の進化』 「5 生物の移り変わりや進化」 「力だめし」	『地球の大気と天気の変化』 「ダイナミックな霧(脇川あらし)」 D-20 D-21 「1 空気中の水の変化」 D-20 D-21 「2 天気の変化と大気の動き」 C-17 D-20 D-21	『地球の大気と天気の変化』 「3 大気の動きと日本の四季」⑤ C-17 D-20 D-21 「力だめし」	『電流の性質とその利用』 「電気の道すじ〜送電線〜」 「1 電流の性質」 A-5	『電流の性質とその利用』 「1 電流の性質」 A-5 「2 電流の正体」 「3 電流と磁界」	『電流の性質とその利用』 「3 電流と磁界」 「力だめし」 予備時間 20時間
DS4「電話の会話」 B-7 B-8 まとめと練習3 学び方コーナー2 U5「Universal Design」 A-2 B-6 B-9 C-13 D-22	DS5「道案内」 B-7 B-8 U6「Rakugo in English」 A1「英語落語家への道」 A2「何がある？」 C-16 C-17 DS6「詩」 A-5	P2「町紹介」 C-16	LR2「Try to Be the Only One」 U7「The Movie Dolphin Tale」 A1「映画ヒットチャート」 A2「どちらを買いたい？」 A-2 B-6 D-19 D-20	DS7「買い物」 B-7 B-8 まとめと練習4 学び方コーナー3	P3「好きなこと・もの」 B-9 LR3「Cooking with the Sun」 D-20 名作鑑賞「I'll Always Love You」 D-19

道徳の全体計画別業 中学校2学年 (その2)

教科	時間	4月	5月	6月	7月	9月
音楽	一般	『曲想を生かして、表現を工夫しよう』 「今この時」 A-4 「メッセージ」 A-4	『パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう』 「翼をください」 C-15 「夢の世界を」 C-15 「フーガト短調」 C-15	『詩と音楽とのかかわりを理解して、表現を工夫しよう』 「夏の思い出」 D-20 「夏の日の贈りもの」 D-20 「夏は来ぬ」 D-20 「風をみつめて」 A-4	『曲の構成を理解して、曲想を味わおう』 「交響曲第5番 ハ短調」 C-18 「時の旅人」 A-4	『響きの美しさを味わおう』 「アカペラの合唱曲」 D-21 「Kum Ba Yah」 D-21
	器楽	『リコーダーを演奏しよう』 アルトリコーダー LESSON2 C-16 C-17 C-18 アルトリコーダー LESSON3 C-16 C-17 C-18	『パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう』 「ラヴァーズコンチェルト」 C-18 『パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう』 「Edelweiss」、「春」他 C-18			
美術	年間35時間 1時間/週	「学びを深めよう／表現の可能性を求めて」 A-3 「新鮮な視点でとらえよう」 A-3		「手作りを味わう喜び／受けつぎつくる人の姿／木でつくる／金属でつくる」 C-16 C-17	「瞬間の美しさを形に／粘土でつくる」 D-21	「座ることから考える」 B-6 C-13
保健体育	年間105時間 3時間/週	【体育編】 『2 運動やスポーツが心身の発達にあたえる効果と安全』 「1 運動やスポーツが体にあたえる効果」 A-2 「2 運動やスポーツが心にあたえる効果」 A-4 「3 安全な運動やスポーツの行い方」 A-2	【保健編】 『2 健康と環境』 「1 環境への適応能力」 「2 快適な温熱条件と明るさ」 A-2	【保健編】 『2 健康と環境』 「3 空気の汚れと換気」 A-2 「4 水の役割と飲料水の条件」 D-20 「5 生活にともなう廃棄物の処理」 D-20 「6 環境問題への取り組み」 D-20		【保健編】 『3 傷害の防止』 「1 傷害の発生要因と防止」 A-2 C-10 D-19
技術	年間35時間 1時間/週	『C 生物育成に関する技術』 「3 作物の栽培」 D-20 「5 動物の飼育」 D-20 「6 水産生物の栽培」 D-20	『C 生物育成に関する技術』 「3 作物の栽培」 「5 動物の飼育」 「6 水産生物の栽培」 「7 生物育成に関する技術の評価・活用」 A-5 D-20	『B エネルギー変換に関する技術』 「1 わたしたちの生活とエネルギー変換」 D-20 「2 電気エネルギーの利用」 D-20	『B エネルギー変換に関する技術』 「3 動力の利用」 A-5 「4 エネルギー変換の実際」 A-1 C-10	『B エネルギー変換に関する技術』 「4 エネルギー変換の実際」 A-1 C-10
家庭	年間35時間 1時間/週	『1 私たちの食生活』 「3 調理と食文化」 ・日常食の調理 A-1 A-2 B-6 C-15 C-16 C-17	『1 私たちの食生活』 「3 調理と食文化」 ・地域の食材を生かした調理 A-2 B-6 C-12 C-16 C-17 『2 私たちの衣生活と住生活』 「3 生活を豊かにするために」 ・小物作り A-2 C-14 C-17	『2 私たちの衣生活と住生活』 「3 生活を豊かにするために」 ・小物作り A-2 C-14 C-17	『2 私たちの衣生活と住生活』 「3 生活を豊かにするために」 ・小物作り A-2 C-14 C-17	『2 私たちの衣生活と住生活』 「3 生活を豊かにするために」 ・小物作り A-3 B-7 『2 住生活と自立』 ・住まいの役割 ・生活行為と住空間 C-14 ・日本の住まいと住まい方資料「日本各地の住まいの例」 C-14 C-16 C-17

10月	11月	12月	1月	2月	3月
『日本の歌やカンツォーネのよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』 「荒城の月」 C-17 「サンタ ルチア」 C-18 「花の季節」 C-18	『オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう』 「アイーダ」 C-18	『歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 「勧進帳」 C-17	『日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 「日本の郷土芸能」 C-16 「受け継ごう！郷土の芸能」 C-17 「世界の諸民族の音楽」 C-18	『日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』	『仲間とともに、表情豊かに合唱しよう』 「さくら草」 B-8 「心の中にきらめいて」 B-8 「今日は君の Birthday」 B-8 「大切なもの」 B-8
			『尺八を演奏しよう』 「夕やけこやけ」 『三味線を演奏しよう』 「さくらさくら」 C-17	『いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう』 「さくらさくら」 『日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう』 「寄せの合方」によるリズムアンサンブル B-8 C-17 C-18	
「豊かなイメージで伝えよう」 B-6 C-13	「墨が生み出す豊かな世界/水墨画の技法」 C-17	「東へ西へ…/現代に受けつがれる浮世絵版画」 B-9 C-17		「名画の魅力に迫る/光が生むリアルとドラマ」 C-18	「まちを彩るパブリックアート」 C-16
【保健編】 『3 傷害の防止』 「2 交通事故の要因と傷害の防止」 C-10 C-12 「3 犯罪被害の防止」 C-10 C-11 「4 自然災害による傷害の防止」 C-12 D-20	【保健編】 『3 傷害の防止』 「5 応急手当の基本」 A-1 「6 心肺蘇生」 D-19 「7 出血があるときの応急手当」 D-19	【保健編】 『3 傷害の防止』 「8 外傷の応急手当」 D-19			
『B エネルギー変換に関する技術』 「5 製作品の構想と設計・製作」 A-1 C-10	『B エネルギー変換に関する技術』 「5 製作品の構想と設計・製作」 A-1 C-10	『B エネルギー変換に関する技術』 「5 製作品の構想と設計・製作」 「6 エネルギー変換に関する技術の評価・活用」 A-5 C-12 D-20	『D 情報に関する技術』 「1 情報とわたしたちの生活」 C-12 D-20 「2 情報通信ネットワークの利用」 C-12 D-20	『D 情報に関する技術』 「3 情報通信ネットワークと情報セキュリティ」 A-2 A-1 「4 情報モラルと知的財産」 A-1 C-10 C-12	『D 情報に関する技術』 「4 情報モラルと知的財産」 A-1 C-10 C-12 「5 コンピュータと情報処理」 C-12 D-20
『2 私たちの衣生活と住生活』 「2 住生活と自立」 ・安全で安心な住まい A-1 B-6 C-14 ・災害に備えた住まい方 A-1 B-6 C-14 C-16 ・快適な住まい方 A-2 A-1	『2 私たちの衣生活と住生活』 「2 住生活と自立」 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 A-2 A-1 C-14 C-16 「選択」 「生活の課題と実践」 ・災害に備えた住まい方の工夫 A-1 C-14	『3 私たちの成長と家族・地域』 「1 家族・家庭と地域」 ・家庭や家族の基本的な機能 B-6 C-14 D-19 ・中学生としての自立 A-1 A-2 B-6 ・家庭生活と地域との関わり A-2 B-6 C-14 C-16 D-19 ・資料「地域の人と関わる大切さ」 C-16 D-19	『3 私たちの成長と家族・地域』 「2 幼児の生活と家族」 ・幼い頃の振り返り B-6 C-14 D-19 ・幼児の体の発達 B-6 B-6 C-14 D-19	『3 私たちの成長と家族・地域』 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児の心の発達 B-7 B-6 C-14 D-19 ・幼児の生活習慣の習得 B-6 C-14 D-19	『3 私たちの成長と家族・地域』 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児の生活と遊び B-7 B-6 C-14 D-19

道徳の全体計画別葉 中学校3学年 (その1)

教科他/月		4月	5月	6月	7月	9月
道徳	年間35時間 1時間/週	資料1 受験生あつこの日記	5 平和集会	9 自信をもって自分自身のために	14 鏡の中のわたし	17 人権作文朗読会
		価値 A-2 節度、節制	C-18 国際理解、国際貢献	A-1 自主、自律、自由と責任	B-8 友情、信頼	C-11 公正、公平、社会正義
		資料2 夢をもって	6 和田真由美さんの手記	10 伝えたい君に	15 人権作文優秀作品	18 Vサイン
		価値 A-4 希望と勇気、克己と強い意志	D-19 生命の尊さ	D-22 よりよく生きる喜び	C-11 公平、公正、社会正義	B-7 礼儀
		資料3 わたしの平和宣言 ①	7 V 2	11 地域人権教育事業について	16 みんなが笑顔	19 地図を持たない旅人-湯川秀樹-
		価値 C-18 国際理解、国際貢献	C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実	C-11 公平、公正、社会正義	A-3 向上心、個性の伸長	A-5 真理の探究、創造
		資料4 わたしの平和宣言 ②	8 義足の甲子園球児	12 短い鉛筆		
		価値 C-18 国際理解、国際貢献	A-4 希望と勇気、克己と強い意志	B-9 相互理解、寛容		
学校行事		1 学期始業式 A-2 B-7 入学式 A-4 B-7 身体測定 A-2 避難訓練 A-2 D-19	修学旅行 B-8 C-15 校医検診 D-19 1 学期中間考査 A-4 教育相談 A-3	市総体 A-4 B-6 歯科検診 D-19 1 学期期末考査 A-4	1 学期終業式 A-2 B-7 地区総体 A-4 B-6 県総体 A-4 B-6 三者面談 A-3 A-4	2 学期始業式 A-2 B-7 体育祭 A-2 A-4 C-10 C-15 市新人総体 A-4 B-6 地区新人総体 A-4 B-6
		新入生歓迎会 B-6 活動委員会 C-15 新年度目標 (1 学期の目標) の設定 A-4 新年度組織の決定 C-15	生徒会総会 A-1 C-15 進路情報の理解と活用 A-3 修学旅行の準備・計画 C-15 生活上の悩みの解消 A-2	総体壮行会 B-6 活動委員会 C-15 健康で安全な生活 A-2	活動委員会 C-15 1 学期の反省と夏休みの生活 A-2	活動委員会 C-15 自主的な学習の進め方 A-1 A-2 適切な進路選択 A-3 A-4
総合的な学習の時間	年間70時間	※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、カリキュラムと道徳の価値項目を適宜関連させて指導する。				
教科	時間	4月	5月	6月	7月	9月
国語	年間140時間 4時間/週	「生命は」 D-19 「二つのアザミ」 D-20 「俳句の読み方、味わい方」 D-21 「俳句を作って句会を開こう」 A-3	「日本語探検-1」 「文法の窓-1」 「形」 A-2 A-3 「百科事典少女」 A-5 B-6 B-9 C-11 D-21 「評価しながら聞こう」 A-1 B-6 「日本語探検-2」 「漢字道場-1」	「絶滅の意味」 C-10 D-20 「漢字道場-2」 「編集して伝えよう」 A-3 C-10 D-19 D-20	「落語の秘密」	「黄金の扇風機」 B-9 C-18 「サハラ砂漠の茶会」 B-6 C-18 D-20 「観察・分析して論じよう」 B-7 B-9 C-12 「場面に応じて話そう」 B-7 「文法の窓-2」 「漢字道場-3」
		『5 近代の日本と世界』 『2 二度の世界大戦と日本』 「導入」 「1 第一次世界大戦と戦後の世界」 C-11 C-18 「2 大正デモクラシーの時代」 C-10 C-11 C-17	『5 近代の日本と世界』 『2 二度の世界大戦と日本』 「3 世界恐慌と中国との戦争」 C-11 C-17 C-18 「5 第二次世界大戦と日本」 C-17 C-18 D-19	『6 現代の日本と世界』 「導入」 「1 平和と民主化への動き」 C-11 C-18 D-19 「2 国際化する世界と日本」 C-11 C-13 C-18 D-21 「歴史を学んで」	『公民との出会いか』 『1 私たちと現代社会』 「1 私たちが生きる現代社会の特色」 A-1 A-5 C-18 「2 現代社会の文化と私たち」 C-17 C-18 「3 現代社会をとらえる見方や考え方」 C-10 C-15	『2 私たちの生活と政治』 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「1 法に基づく政治と日本国憲法」 B-9 C-10 C-18 「2 日本国憲法と基本的人権」 B-6 B-8 B-9 C-10 C-11 C-13 C-16 C-18
社会	年間140時間 4時間/週	『1 式の展開と因数分解』 「1 式の展開と因数分解」	『1 式の展開と因数分解』 「1 式の展開と因数分解」 「2 式の計算の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『2 平方根』 「1 平方根」	『2 平方根』 「1 平方根」 「2 根号をふくむ式の計算」 「3 平方根の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『3 二次方程式』 「1 二次方程式」	『3 二次方程式』 「1 二次方程式」 「2 二次方程式の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『4 関数 y=ax ² 』 「1 関数とグラフ」	『4 関数 y=ax ² 』 「1 関数とグラフ」 「2 関数 y=ax ² の値の変化」 「3 いろいろな事象と関数」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」
		『生命の連続性』 「つながる生命」 D-19 D-20 「1 生物の成長とふえ方」 D-19 D-20 「2 遺伝の規則性と遺伝子」 D-19 D-20	『生命の連続性』 「力だめし」 「化学変化とイオン」 「水素と酸素から電気をつくる」 A-5 「1 水溶液とイオン」 A-5	『化学変化とイオン』 「1 水溶液とイオン」 「2 酸・アルカリと塩」 C-16	『化学変化とイオン』 「2 酸・アルカリと塩」 「力だめし」 『運動とエネルギー』 「どのようなときに運動がはじまるのだろうか」 A-5	『運動とエネルギー』 「1 力のつり合い」 A-5 「2 物体の運動」 A-5
数学	年間140時間 4時間/週	『1 式の展開と因数分解』 「1 式の展開と因数分解」	『1 式の展開と因数分解』 「1 式の展開と因数分解」 「2 式の計算の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『2 平方根』 「1 平方根」	『2 平方根』 「1 平方根」 「2 根号をふくむ式の計算」 「3 平方根の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『3 二次方程式』 「1 二次方程式」	『3 二次方程式』 「1 二次方程式」 「2 二次方程式の利用」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」 『4 関数 y=ax ² 』 「1 関数とグラフ」	『4 関数 y=ax ² 』 「1 関数とグラフ」 「2 関数 y=ax ² の値の変化」 「3 いろいろな事象と関数」 「基本のたしかめ、章末問題、千思万考」
		『生命の連続性』 「つながる生命」 D-19 D-20 「1 生物の成長とふえ方」 D-19 D-20 「2 遺伝の規則性と遺伝子」 D-19 D-20	『生命の連続性』 「力だめし」 「化学変化とイオン」 「水素と酸素から電気をつくる」 A-5 「1 水溶液とイオン」 A-5	『化学変化とイオン』 「1 水溶液とイオン」 「2 酸・アルカリと塩」 C-16	『化学変化とイオン』 「2 酸・アルカリと塩」 「力だめし」 『運動とエネルギー』 「どのようなときに運動がはじまるのだろうか」 A-5	『運動とエネルギー』 「1 力のつり合い」 A-5 「2 物体の運動」 A-5
英語	年間140時間 4時間/週	U0 「Countries around the World」 C-13 C-17 D-20 U1 「Pop Culture Then and Now」 A1 「美術館にて」 A2 「お気に入りの絵」 C-17	DS1 「食事の会話」 B-7 P1 「日本文化紹介」 C-17 U2 「From the Other Side of the Earth」 A1 「スタジアムから」 A2 「いつからなかよし？」 D-20	DS2 「手紙」 B-7 U3 「Fair Trade Event」 A1 「ガーナってどんな国？」 A2 「これまでの経験」 C-11 DS3 「さそい」 B-7	まとめと練習1 学び方コーナー1 P2 「修学旅行」④ C-17 D-21	LR1 「A Mother's Lullaby」 D-19 U4 「To Our Future Generations」 C-15 D-19

10月	11月	12月	1月	2月	3月
20 運命の木 C-17 我が国の伝統と文化も尊重、国を愛する態度 21 わき役の力 C-10 遵法精神、公德心 22 平和映画鑑賞① C-18 国際理解、国際貢献 23 平和映画鑑賞② C-18 国際理解、国際貢献	24 パスと赤ちゃん C-12 社会参画、公共の精神 25 オールロマンス事件、教科書無償の戦い、結婚差別① C-11 公平、公平、社会正義 26 オールロマンス事件、教科書無償の戦い、結婚差別② C-11 公平、公正、社会正義 27 いもうと C-14 家族愛、家庭生活の充実	28 コウノトリの郷 C-16 我が国の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 29 将来のパートナー B-8 友情、信頼 2 学期終業式 A-2 B-7 進路相談 A-3 活動委員会 C-15 募金活動 B-6 2 学期の反省と冬休みの生活 A-2	30 心がひとつに C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実 31 二人の弟子 D-22 よりよく生きる喜び 32 聖地甲子園の土守 C-13 勤労 全校集会 A-2 3 学期始業式 A-2 B-7 避難訓練 A-2 D-19 3 学期の目標設定 A-4 生徒会総会 A-1 C-15 新年の抱負 A-4 入試事前指導 A-2 B-7	33 分かれ道 B-6 思いやり、感謝 34 1枚のはがき B-6 思いやり、感謝 私立高校入試 A-4 A-5 学年末考査 A-4 活動委員会 C-15 卒業文集作り A-5	35 3年間の反省 公立高校入試 A-4 A-5 卒業式 B-7 C-15 卒業奉仕作業 C-13 C-15 3年生を送る会 B-6 活動委員会 C-15 入試事前指導 A-2 B-7 保護者・教師へのメッセージ C-14 C-15 1年間をふりかえって A-4 A-3
※総合的な学習の時間のねらいをふまえ、カリキュラムと道德の価値項目を適宜関連させて指導する。					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
『初恋』 B-8 『万葉・古今・新古今』 『おくのほそ道』 A-5 D-21 『論語』 A-2 A-3 B-6 『古典の言葉』 『日本語探検-2』 『文法の窓-3』	『故郷』 A-4 A-5 B-9 C-16 D-22 『漢字道場-4』	『何のために『働く』のか』 B-6 C-13 『本で世界を広げよう』	『いつものように新聞が届いた』 A-4 A-1 C-10 C-13 C-15 C-16	『話し合いで問題を解決しよう』 B-6 C-10 『今の思いをまとめよう』 A-3 A-5 『漢字道場-5』	『レモン哀歌』 A-5 C-14 D-19 『生ましめんかな』 A-4 B-6 D-19 『最後の一句』 A-4 C-14
『2 私たちの生活と政治』 『3 日本の平和主義』 C-18 『2章 国民権と日本の政治』 『3 国の政治のしくみ』 『3 私たちの生活と経済』 『1 民主政治と政治参加』 A-5 C-10 C-11 C-15 『2 暮らしを支える地方自治』 A-5 C-10 C-15 C-16 『3 国の政治のしくみ』 A-5 C-10 C-11	『2章 国民権と日本の政治』 『3 国の政治のしくみ』 『3 私たちの生活と経済』 『1 消費生活と経済のしくみ』 A-1 A-2 『2 生産の場としての企業』 C-11 C-13	『3 私たちの生活と経済』 『3 金融のしくみとお金の価値』 C-11 C-13 『4 財政と国民の福祉』 C-10 C-12 D-21	『4 私たちと国際社会』 『1 国家と国際社会』 C-10 C-11 C-13 C-17 C-18 『2 国際社会の課題と私たちの取り組み』 C-18 D-20	『5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-』 C-10 C-11 C-13 C-17 C-18 D-20	『公民を学んで』
『5 図形と相似』 『1 図形と相似』 『2 平行線と線分の比』	『5 図形と相似』 『2 平行線と線分の比』 『3 相似な図形の計量』 『4 相似の利用』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』 『6 円の性質』 『1 円周角と中心角』	『6 円の性質』 『1 円周角と中心角』 『2 円の性質の利用』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』	『7 三平方の定理』 『1 三平方の定理』 『2 三平方の定理の利用』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』	『8 標本調査』 『1 標本調査』 『基本のたしかめ、章末問題、千思万考』	
『運動とエネルギー』 『3 仕事とエネルギー』 A-5 『4 多様なエネルギーとその移り変わり』 『5 エネルギー資源とその利用』	『運動とエネルギー』 『5 エネルギー資源とその利用』 『力だめし』 『宇宙の中の地球』 『地球はどのような天体なのだろうか』 C-18 『1 地球とその外側の世界』 D-20	『地球と宇宙』 『2 太陽と恒星の動き』 『3 月と金星の動きと見え方』 『力だめし』	『自然と人間』 『山と海に広がる森』 D-20 『1 自然界のつり合い』 D-19 D-20 『2 人間と環境』 C-16 C-18 D-20	『自然と人間』 『3 自然が人間の生活におよぼす影響』 C-17 C-18 D-19 D-20 『4 科学技術と人間』 A-5 C-18 『5 科学技術の利用と環境保全』	『自然と人間』 『力だめし』 予備時間 28時間
DS4 『道案内』 B-7 B-6 U5 『Living with Robots-For or Against』 A1 『優先席に座ってもよい?』 A2 『紙の辞書と電子辞書』 B-9 DS5 『電話の会話』 B-7	U6 『Striving for a Better World』 A-4 C-15 A1 『尊敬する人物』 A2 『記憶力クイズ』 DS6 『レポート』 B-9 C-15 まとめと練習2 学び方コーナー2	P3 『中学校生活』 A-3 B-9	LR2 『The Green Door』 英語の歌 B-6	LR3 『An Artist in the Arctic』 D-19 D-20 D-22 名作鑑賞 『The Letter』 B-8	FR 『Sato Mami: Making the Best of Life』 A-4 D-22 『Malala Yousafzai: Education First』 A-4 C-11

道徳の全体計画別業 中学校3学年 (その2)

教科		時間	4月	5月	6月	7月	9月
音楽	一般		『日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』 「花」 D-21 「花の街」 D-19 「早春賦」 D-21	『曲想や語感を生かして、表現を工夫しよう』 「帰れソレントへ」 C-18 「Yesterday」 C-18 「きみとともに」 A-4	『ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 「ポピュラー音楽」 C-18 「ルールを守って音楽を楽しもう！」 C-10	『言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう』 「青空」 A-4	『パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう』 「風の中の青春」 C-15 「フィンランディア」 C-18
	器楽	年間 35時間 1時間/週				『曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう』 「テキーラ」 B-8 C-18 『パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう』 「Yesterday」 C-18 「美女と野獣」 「海に見える街」 B-8	
美術		年間 35時間 1時間/週	「私との対話」 A-3	「美を探し求めて／夢を形にするデザイン」 D-22	「問題意識を形に」 C-10	「暮らしを心地よくするインテリア」 B-6 「撮影の第一歩」 D-20	「共同制作の魅力」 C-15
保健体育		年間 105時間 3時間/週	【体育編】 『3 文化としてのスポーツの意義』 「1 現代生活におけるスポーツの文化的意義」 C-10 「2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割」 C-11 C-18 「3 人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき」 C-10	【保健編】 『4 健康な生活と病気の予防』 「1 健康の成り立ち」 A-2 「2 食生活と健康」 A-2	【保健編】 『4 健康な生活と病気の予防』 「3 運動と健康」 A-2 「4 休養・睡眠と健康」 A-2 「5 生活習慣の変化と生活習慣病」 A-2 「6 生活習慣病の予防」 A-2		【保健編】 『4 健康な生活と病気の予防』 「7 喫煙と健康」 A-2 C-10 D-19 「8 飲酒と健康」 A-2 C-10 D-19
技術		年間 17.5時間 0.5時間/週	『D 情報に関する技術』 「6 デジタル作品の設計と制作」 A-1 C-10	『D 情報に関する技術』 「6 デジタル作品の設計と制作」 A-1 C-10	『D 情報に関する技術』 「6 デジタル作品の設計と制作」 A-1 C-10	『D 情報に関する技術』 「6 デジタル作品の設計と制作」 A-1 C-10	『D 情報に関する技術』 「6 デジタル作品の設計と制作」 A-1 C-10
家庭		年間 17.5時間 0.5時間/週	『3 私たちの成長と家族・地域』 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児の生活と遊び B-7 B-6 C-14 D-19 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児との触れ合い体験 B-7 B-6 C-14 D-19	『3 私たちの成長と家族・地域』 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児との触れ合い体験 ・幼児との触れ合い体験まとめ	『3 私たちの成長と家族・地域』 「3 これからの私と家族」 「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 ・消費者としての自覚 A-1 C-10	『4 私たちの消費生活と環境』 「1 私たちの消費生活」 ・販売方法と支払い方法 A-1 C-10 ・商品の選択と購入 A-1 C-10 ・消費者トラブル A-1 C-10 ・消費者の権利と責任 A-1 C-10	『4 私たちの消費生活と環境』 「1 私たちの消費生活」 ・よりよい消費生活を目指して A-1 C-10 ・資料「フェアトレード」 C-11 C-18 「2 環境に配慮した消費生活」 ・エネルギー消費と環境 A-1 C-10 D-20 ・持続可能な社会を目指そう A-1 C-10 C-17 D-20

10月	11月	12月	1月	2月	3月
『音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう』 「展覧会の絵」 C-18 「ブルータバ」 C-18	『曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう』	『雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 平調「越天楽」 C-17 「羽衣」 C-17	『世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 「世界の諸民族の音楽」 C-18 「美しい約束」 D-21	『仲間とともに、表情豊かに合唱しよう』 「大地讃頌」 D-20 D-21 「名づけられた葉」 A-1	『仲間とともに、表情豊かに合唱しよう』 「いつまでも」 C-16 「旅立ちの日に」 C-15
『楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して、響きのおもしろさを味わおう』 「打楽器のための小品」 B-8 『リズムの変化や重なり方に注目しながら、リズムアンサンブルを楽しもう』 「クラッピングクラブ」ディ第1番 B-8					
「刻まれた折り／仏像の種類」 D-21 D-22 「ここでシャッターを切った理由／写真撮影の第一歩」 D-20	「アートを体験する場に出かけよう／日本の世界文化遺産／自然を愛でる空間」 C-16 C-17	「デザインで変える現在と未来／魅力が伝わるパッケージ」 C-16	「『ゲルニカ』は語る」 C-18 D-19		「あなたへ～中学校美術からの巣立ち」 A-4
【保健編】 『4 健康な生活と病気の予防』 「9 薬物乱用と健康」 D-19 「10 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ」 A-1 A-2 「11 感染症の原因」 A-2 C-15 「12 感染症の予防」 A-2 C-10 C-15	【保健編】 『4 健康な生活と病気の予防』 「13 性感染症とその予防」 B-8 C-11 D-19 「14エイズとその予防」 B-8 C-11 D-19 「15 地域での保健・医療の取り組み」 A-2 C-10	【保健編】 『4 健康な生活と病気の予防』 「16 医薬品の有効利用」 A-2 C-10 C-12 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」 A-2 B-6 C-10 C-12 C-15 C-13 D-19			
『D 情報に関する技術』 「7 プログラムによる計測・制御」 C-10 D-20	『D 情報に関する技術』 「7 プログラムによる計測・制御」 C-10 D-20	『D 情報に関する技術』 「7 プログラムによる計測・制御」 C-10 D-20	『D 情報に関する技術』 「7 プログラムによる計測・制御」 C-10 D-20	『D 情報に関する技術』 「7 プログラムによる計測・制御」 C-10 D-20 「8 情報に関する技術の評価・活用」 A-5 C-10 C-12 C-13 D-20	
			4 「保育分野 幼児のおやつ作り」 幼児の食生活についての理解を深める		

第1学年 年間指導計画 別葉(その1)

内容項目	主 題 名	一 語 節	月	社 会				数 学	月	理 科	月	英 語	月
				地 理	月	歴 史	月						
A-1	自主、自律、自由と責任	「矛盾」 「少年の日の思い出」	9月 11月									U1「はじめまして」 P2「一日の生活」	4月
A-2	節度、節制	「伊宮保物語」 「案内や報告の文章を書こう」 「学校新聞の記事を書こう」	9月 10月 1月									U0「アルファベット」 英語の歌1 U3「わたしの好きなこと」 DS「体調をたずねる」 P2「一日の生活」	4月 6月 9月 12月
A-3	向上心、個性の伸長	「風の玉線譜」 「小さな意見を辨にしよう」 「さんちき」 「トロッコ」	4月 5月 3月										
A-4	希望と勇氣、克己と強い意志	「さんちき」 「構成を考えて書こう」	5月 6月									U5「学校の文化祭」	9月
A-5	真理の探究、創造	「詩の心—発見の喜び」 「さんちき」 「オオカミを見る目」 「ニュースの見方を考えよう」	4月 5月 6月 1月	「3世界の諸地域」 「4世界のさまざまな地域の調査」	10月		全領域	全	「身のまわりの物質」 「1いろいろな物質とその性質」 「2いろいろな気体とその性質」 「3水溶液の性質」 「4物質のすがたとその変化」 「光・音・力による現象」 「身のまわりには、どのようなくみがかかっているのだろうか」 「1 光による現象」 「2 音による現象」 「3 力による現象」	7月 9月 10月 11月 12月			
B-6	思いやり、感謝	「伊宮保物語」	9月									U1「はじめまして」 DS1「体調をたずねる」 DS2「電話の会話」 DS3「グリーティングカード」 DS5「道案内」 DS7「絵はがき」	5月 9月 10月 12月 2月
B-7	礼儀	「話し方はどうかな」 「余話が無心質問をしよう」 「矛盾」 「案内や報告の文章を書こう」 「学校新聞の記事を書こう」 「話し合いで理解を深めよう」 「作品のよさを表現しよう」	4月 6月 9月 10月 12月 2月	「3世界の諸地域」 「4世界のさまざまな地域の調査」	10月				「身のまわりの物質」 「1いろいろな物質とその性質」 「2いろいろな気体とその性質」 「3水溶液の性質」 「4物質のすがたとその変化」 「光・音・力による現象」 「身のまわりには、どのようなくみがかかっているのだろうか」 「1 光による現象」 「2 音による現象」 「3 力による現象」	7月 9月 10月 11月 12月	U1「はじめまして」 DS1「体調をたずねる」 DS2「電話の会話」 DS3「グリーティングカード」 DS5「道案内」 DS7「絵はがき」	4月 5月 6月 7月 9月 12月 1月 2月	
B-8	友情、信頼	「少年の日の思い出」	11月									U2「学校で」 U3「わたしの好きなこと」 P1「自己紹介」 英語の歌2 DS3「グリーティングカード」 U10「あこがれのポストン」 LA4「休暇中の出来事」 P3「思い出の行事」	5月 6月 7月 10月 1月 3月
B-9	相互理解、寛容	「話し合いで理解を深めよう」	2月									U7「ブラジルから来たサッカーコーチ」 U8「イギリスの本」	10月 11月
C-10	遵法精神、公徳心											DS4「ウェブサイト」 LA3「電車のトラブル発生」	11月 12月
C-11	公平、公正、社会正義			「3世界の諸地域」 「3 アフリカ州」 「4 北アメリカ州」 「6 オセアニア州」	6月 7月 10月								
C-12	社会参画、公共の精神												
C-13	勤労											U6「オーストラリアの兄」 U8「チャイナタウンへ行こう」	9月 11月

第1学年 年間指導計画 別業 (その2)

内容項目	主 題 名	国語	月	社会				数学	月	理科	月	英語	月
				地理	月	歴史	月						
C-14	家族愛、家庭生活の充実	『碑』	7月									U6「オーストラリアの兄」 DS6「ちよっとお願い」	9月 1月
C-15	よりよい学校生活、集団生活の充実	『集まって住む』	12月	『3 資源や産業の特色』 『3 日本の諸地域』 『1 九州地方』 『2 中国・四国地方』 『3 近畿地方』 『4 中部地方』 『5 関東地方』	11月 12月 1月 2月 3月							U2「学校で LA1「何のCM?」 U4「ホームパーティー」 U5「学校の文化祭」 DS4「ウェブサイトを DSS」遠案内」 LA3「電車のトラブル発生」 LA4「休暇中の出来事」 P3「悪い出の行幸」 LR「The Restaurant with Many Orders」	5月 6月 9月 11月 12月 3月
C-16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	『古典の世界』	9月	『1 日本の姿』 『3 日本の諸地域』 『1 九州地方』 『2 中国・四国地方』 『3 近畿地方』 『4 中部地方』 『5 関東地方』	11月 12月 1月 2月 3月				『自然の中に生命の営みを見つけてみよう』 『活きている地球』 『地球内部の謎にせまる』	4月 1月			
C-17	我が国の伝統文化の尊重、国を愛する態度	『漢字道場-3』	9月	『2 世界各地の人々の生活と環境』 『3 世界の諸地域』 『世界の諸地域を学ぶにあたって』 『1 アジア州』 『1 日本の姿』 『2 世界と比べた日本の地域的特色』 『1 自然環境の特色』 『2 人口の特色』 『3 資源や産業の特色』 『4 地域間の結びつきの特色』 『3 日本の諸地域』 『日本の諸地域を学ぶにあたって』 『1 九州地方』 『2 中国・四国地方』 『3 近畿地方』 『4 中部地方』 『5 関東地方』	4月 5月 6月 11月 12月 1月 2月 3月						U11「悪い出の一年」		
C-18	国際理解、国際貢献	『碑』	7月	『1 世界の姿』 『2 世界各地の人々の生活と環境』 『3 世界の諸地域』 『世界の諸地域を学ぶにあたって』 『1 アジア州』 『2 ヨーロッパ州』 『3 アフリカ州』 『4 北アメリカ州』 『5 南アメリカ州』 『6 オセアニア州』 『4 世界のさまざまな地域の顔』 『2 世界と比べた日本の地域的特色』 『1 自然環境の特色』 『2 人口の特色』 『3 資源や産業の特色』 『4 地域間の結びつきの特色』	4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月						U0「アルファベット」 英語の歌1	4月	
D-19	生命の尊重	『碑』	7月						『自然の中に生命の営みを見つけてみよう』 『活きている地球』 『大地が火をふく』	4月 2月	LA1「何のCM?」 U4「ホームパーティー」	6月	
D-20	自然愛護	『時の心—発見の喜び』 『飛べ かもめ』 『スズメは本当に減っているか』 『竹取物語』 『案内や報告の文章を書こう』 『学校新聞の記事を書こう』 『名づけられた葉』	4月 5月 9月 10月 1月 3月	『1 世界の姿』 『2 世界各地の人々の生活と環境』 『3 世界の諸地域』 『世界の諸地域を学ぶにあたって』 『1 アジア州』 『2 ヨーロッパ州』 『4 北アメリカ州』 『5 南アメリカ州』 『6 オセアニア州』 『2 世界と比べた日本の地域的特色』 『1 自然環境の特色』 『3 資源や産業の特色』 『3 日本の諸地域』 『1 九州地方』 『2 中国・四国地方』 『3 近畿地方』 『4 中部地方』 『5 関東地方』	4月 5月 5月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月			『自然の中に生命の営みを見つけてみよう』 『植物のくらしとなかま』 『1 花のつくりはたらき』 『2 水や栄養分を運ぶしくみ』 『3 栄養分をつくるしくみ』 『4 植物のなかま分け』 『活きている地球』 『地球内部の謎にせまる』 『大地がゆれる』 『大地が火をふく』 『3 大地は語る』	4月 5月 6月 1月 2月 3月	U10「あこがれのポストン」 LR「The Restaurant with Many Orders」	1月 3月		
D-21	感動、畏敬の念	『少年の日の思い出』 『名づけられた葉』	11月 3月						『活きている地球』 『地球内部の謎にせまる』 『大地がゆれる』 『大地が火をふく』 『3 大地は語る』	1月 2月 3月			
D-22	よりよく生きる喜び	『名づけられた葉』	3月									LR「The Restaurant with Many Orders」	3月

第1学年 年間指導計画 別葉 (その3)

内容項目	主題名	音楽				美術	月	保健体育		月	技術		月	家庭科		月
		一般	月	音楽	月			月	月		月	月				
A-1	自主、自律、自由と責任							【保健編】 「1 心身の発達と心の健康」 「4 思春期の心の変化への対応」 「5 考える心・感動する心の発達」 「6 人とのかかわりと自分らしさ」	5月 6月 10月	【A 材料と加工に関する技術】 「3 設計」 「5 木材による製作」 「6 金属・プラスチックによる製作」	6月 7月 9月 10月 11月 1月	【家庭分野のガイダンス】 「2 私たちの衣生活と住生活」 「衣服計画・既製服の選択と購入」 「1 私たちの食生活」 「1 食生活と栄養」 「食事の役割」 「健康に良い食習慣」 「中学生に必要な栄養素」 「2 献立作りと食品の選択」 「食品群別摂取量の目安」 「献立作り」 「食品の選択と購入」 「3 調理と食文化」 「調理の基礎技能」 「日常食の調理」	4月 4月 6月 9月 10月 11月 2月 3月			
A-2	節度、節制							【保健編】 「1 心身の発達と心の健康」 「1 体の発育・発達」 「2 呼吸器音・循環器音の発育・発達」 「5 考える心・感動する心の発達」 「8 ストレスへの対応」 「9 心と体のかかわり」	5月 6月 10月 11月		【2 私たちの衣生活と住生活】 「1 衣生活と自立」 「衣服の働き」 「個性を生かす服装」 「衣服計画・既製服の選択と購入」 「より良い衣生活」 「1 私たちの食生活」 「1 食生活と栄養」 「健康に良い食習慣」 「中学生に必要な栄養素」 「2 献立作りと食品の選択」 「食品群別摂取量の目安」 「献立作り」 「食品の選択と購入」 「3 調理と食文化」 「調理の基礎技能」 「日常食の調理」	5月 7月 9月 10月 11月 1月 2月 3月				
A-3	向上心、個性の伸長					【出会って広げよう】 「図画工作、そして…美術へ」 「モダンテクニック」	4月	【保健編】 「1 心身の発達と心の健康」 「6 人とのかかわりと自分らしさ」 「7 欲求への対応」	10月 11月							
A-4	希望と勇氣、克己と強い意志	「曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう」【Forever】 「イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう」【いつか】 「音楽の特徴から情景を想像しよう」【Unlimited】 「曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう」 「てのひら」 「詩と音楽とのかかわりを感じ取ろう」【夢を追いかけて】 「曲想やハートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう」 「飛びだそう 未来へ」【星座】 「華曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう」 「青春のハーモニー」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」 「カリブ 夢の旅」 「Let's Search For Tomorrow」 「あすという日が」	5月 6月 7月 9月 10月 11月 2月 3月			「見て感じて、描く／鉛筆で描く」 「一枚の紙から広がる世界」 「身近なものを立体で表そう」	5月 7月 2月	【体育編】 「1 運動やスポーツの多様性」 「1 運動やスポーツの必要性と楽しさ」 「2 運動やスポーツへの多様なかかわり方」	4月	【ガイダンス】	4月					
A-5	真理の探究、創造					「なぜか気になる情景／水彩で描く」【遠近感を表す】 「美しく伝える文字のデザイン／自然界や身の回りがある形や色／三原色から生まれる色／色を学ぶ」	6月 9月			【A 材料と加工に関する技術】 「7 材料と加工に関する技術の評価・活用」	1月	【家庭分野のガイダンス】 「1 私たちの食生活」 「選択」 「生活の課題と実践」 「行事食を調べよう」	4月 12月			
B-6	思いやり、感謝	「曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう」 「主人は冷たいまの中に」 「日本の歌のよさや美しさを感取って、表現を工夫しよう」 「赤とんぼ」	5月 1月			「デザインの世界を開こう」 「美しく伝える文字のデザイン／自然界や身の回りがある形や色／三原色から生まれる色／色を学ぶ」 「復讐したくなる焼き物を作ろう／き物をつくる」 「暮らしに息づく木の命／木工の技法」 「身近な人を見つめて／私が見つけた物語」	6月 9月 10月 11月 12月					【1 私たちの食生活】 「2 献立作りと食品の選択」 「食品の選択と購入」 「3 調理と食文化」 「調理の基礎技能」 「日常食の調理」	11月 1月 2月 3月			
B-7	礼儀											【2 私たちの衣生活と住生活】 「1 衣生活と自立」 「衣服の働き」 「目的に応じた着用品」 「個性を生かす服装」 「衣服の手入れ」 「より良い衣生活」 「1 私たちの食生活」 「選択」 「生活の課題と実践」 「行事食を調べよう」	11月 12月			
B-8	友情、信頼	「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう」 「マイバレード」	12月			「デザインの世界を開こう」	6月	【体育編】 「1 運動やスポーツの多様性」 「1 運動やスポーツの必要性と楽しさ」 「2 運動やスポーツへの多様なかかわり方」 【保健編】 「1 心身の発達と心の健康」 「3 生命を生み出す体への成熟」 「4 思春期の心の変化への対応」 「8 ストレスへの対応」	4月 6月 11月							
B-9	相互理解、寛容					「デザインの世界を開こう」 「鑑賞と出会い」	6月 9月									
C-10	遵法精神、公徳心									【A 材料と加工に関する技術】 「1 ものづくりの視点と進め方」 「5 木材による製作」 「6 金属・プラスチックによる製作」	5月 9月 10月 11月 12月 1月					
C-11	公平、公正、社会正義															
C-12	社会参画、公共の精神									【ガイダンス】 【A 材料と加工に関する技術】 「2 材料」 「5 木材による製作」	4月 6月 9月 1月	【家庭分野のガイダンス】	4月			
C-13	勤労					「美しく伝える文字のデザイン／自然界や身の回りがある形や色／三原色から生まれる色／色を学ぶ」	9月	【体育編】 「1 運動やスポーツの多様性」 「1 運動やスポーツの必要性と楽しさ」 「2 運動やスポーツへの多様なかかわり方」	4月	【A 材料と加工に関する技術】 「6 金属・プラスチックによる製作」	9月 1月	【家庭分野のガイダンス】	4月			

第1学年 年間指導計画 別業（その4）

内容項目	主題名	音楽				美術	月	保健体育	月	技術	月	家庭科	月
		一般	月	器楽	月								
C-14	家族愛、家庭生活の充実						【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 『8 ストレスへの対処』	11月				『1 私たちの食生活』 『1 食生活と栄養』 ・健康に良い食習慣 ・中学生に必要な栄養素	9月
C-15	よりよい学校生活、集団生活の充実	『新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう』 『歌の風』 『曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう』 『ハブ』	4月 11月				【体育編】 『1 運動やスポーツの多様性』 『8 運動やスポーツの学び方』 【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 『6 人とのかわり目と自分らしさ』	5月 10月				『2 私たちの衣生活と住生活』 『1 衣生活と栄養』 ・目的に応じた着用 『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・調理の基礎技能 ・日常食の調理	5月 1月 2月 3月
C-16	郷土の伝統と文化を愛する態度	『日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう』 『日本の民謡』 『ソラン節』 『日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう』 『ふるさと』	12月 1月	『箏笛を演奏しよう』 『たここあがれ』、『ほたるこい』 『箏を演奏しよう』 『虫づくし』、『姫松』、『さくらさくら』 『箏を平調子に調弦して旋律をつくらう』 My Melody	10月 1月							『2 私たちの衣生活と住生活』 『1 衣生活と自立』 ・資料「和服の文化に触れよう」 『1 私たちの食生活』 『選択』 『生活の課題と実践』 ・行事食を調べよう 『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・調理の基礎技能 ・日常食の調理	5月 12月 1月 2月 3月
C-17	我が国の伝統文化の尊重、国を愛する態度	『日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう』 『ふるさと』 『君が代』 『黒鷲鈴慕』 『事曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう』 『六段の調』	1月 2月	『箏笛を演奏しよう』 『たここあがれ』、『ほたるこい』 『箏を演奏しよう』 『虫づくし』、『姫松』、『さくらさくら』 『箏を平調子に調弦して旋律をつくらう』 My Melody	10月 1月	『使いたくなる焼き物を作ろう／き物をつくる』 『暮らしに息づく木の命／木工の技法』	10月 11月		『ガイダンス』 『A 材料と加工に関する技術』 『5 木材による製作』 『6 金属・プラスチックによる製作』	4月 9月 10月 11月 12月 1月	『家庭分野のガイダンス』 『2 私たちの衣生活と住生活』 ・資料「和服の文化に触れよう」 『1 私たちの食生活』 『1 食生活と栄養』 『選択』 『2 献立作りと食品の選択』 ・資料「和食」 『選択』 『生活の課題と実践』 ・行事食を調べよう 『3 調理と食文化』 ・調理の基礎技能 ・日常食の調理	4月 5月 9月 11月 12月 1月 2月 3月	
C-18	国際理解、国際貢献	『曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう』 『エーデルワイス』 『日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう』 『アジアの諸民族の音楽』	9月 12月	『リコーダーを演奏しよう』 アルトリコーダー LESSON1 『曲想を感じ取って、表現の仕方を工夫しよう』 『聖者の行進』	9月							『2 私たちの衣生活と住生活』 『1 衣生活と自立』 ・資料「和服の文化に触れよう」	4月 9月
D-19	生命の尊重	『詩と音楽とのかわりを感じ取ろう』 『魔王』	10月				【保健編】 『1 心身の発達と心の健康』 『3 生命を生み出す体への成熟』	6月					
D-20	自然愛護	『曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう』 『浜辺の歌』 『音楽の特徴から情景を想像しよう』 『第一楽章』 『曲想や全体の響きを感じ取って、表現を工夫しよう』 『Michael Row The Boat Ashore』	5月 7月 9月			『暮らしに息づく木の命／木工の技法』	11月		『ガイダンス』 『A 材料と加工に関する技術』 『1 ものづくりの視点と進め方』 『2 材料』 『7 材料と加工に関する技術の評価・活用』 『C 生物育成に関する技術』 『1 わたしたちの生活と生物育成』 『2 生物の育成』	4月 5月 6月 11月 1月 2月 3月	『家庭分野のガイダンス』	4月	
D-21	感動、畏敬の念	『日本の歌のよさや美しさを感じ取って、表現を工夫しよう』 『夕焼小娘』	1月										
D-22	よりよく生きる喜び												

第2学年 年間指導計画 別葉 (その1)

内容項目	主 題 名	国語	月	社会				数学	月	理科	月	英語	月
				地理	月	歴史	月						
A-1	自主、自律、自由と責任	「反対意見を想定して書こう」 「平家物語」 「漢詩」 「坊ちゃん」 「カメレオン」	9月 10月 3月								U3「Career Day」 A1「仕事紹介」 A2「夢の世界旅行」 DS「メール」 LR1「The Carpenter's Gift」	6月 9月	
A-2	節度、節制	「説得力のある提案をしよう」 「プレゼンテーション」 「正しい」言葉は信じられるか	9月 1月								U4「Homestay in the United States」 A1「今日の天気」 A2「家での決まりごと」 U5「Universal Design」 LR2「Try to Be the Only One」 U7「The Movie Dolphin Tale」 A1「映画ヒットチャート」 A2「どちらを買いたい？」	9月 10月 1月	
A-3	向上心、個性の伸長	「短歌のリズムで表現しよう」 「哲学的思考のすすめ」 「話し合いで問題を検討しよう」 リンクマップによる話し合い 「いきいきと描き出そう」短歌から始まる物語 「坊ちゃん」	4月 9月 2月 3月										
A-4	希望と勇気、克己と強い意志	「未来へ」 「卒業ホームラン」 「平家物語」	5月 10月										
A-5	真理の探究、創造	「問題意識を持って聞こう」 「調べて考えたことを伝えよう」 「食文化」のレポート 「筑紫子、従軍草」 「漢語」 「正しい」言葉は信じられるか 「話し合いで問題を検討しよう」 リンクマップによる話し合い	5月 6月 7月 10月 1月 2月			「1 歴史のとらえ方」 「4近世の日本」 「4 幕府政治の改革と農村の変化」 「近代の日本と世界」 「6 近代日本の社会と文化」	5月 12月 3月	全領域	全	「化学変化と原子・分子」 「銀をつくる粒子」 「1 物質の成り立ち」 「2 物質を数で記号」 「3 さまざまな化学変化」 「4 化学変化と物質の質量」 「電流の性質とその利用」 「1 電流の性質」	4月 5月 6月 1月 2月	DS0「詩」	11月
B-6	思いやり、感謝	「小さな労働者」 「走れメロス」 「坊ちゃん」	7月 11月 3月								U1「A Friend in a Sister School」 A1「休職の思い出」 A2「好みは変わる？」 U3「Career Day」 U4「Homestay in the United States」 A1「今日の天気」 A2「家での決まりごと」 U5「Universal Design」 LR2「Try to Be the Only One」 U7「The Movie Dolphin Tale」 A1「映画ヒットチャート」 A2「どちらを買いたい？」	4月 6月 9月 10月 1月	
B-7	礼儀	「反対意見を想定して書こう」 「説得力のある提案をしよう」 「プレゼンテーション」 「依頼状やお礼状を書こう」 「正しい」言葉は信じられるか 「話し合いで問題を検討しよう」 リンクマップによる話し合い	9月 11月 12月 1月 2月	「4 身近な地域の調査」	4月						U1「A Friend in a Sister School」 A1「休職の思い出」 A2「好みは変わる？」 DS「日記」 U2「A Trip to the UK」 A1「海外旅行」 A2「夏休みの旅行計画」 DS2「いいね！にお願い」 U3「Career Day」 A1「仕事紹介」 A2「夢の世界旅行」 DS「メール」 P1「将来の夢」 LR1「The Carpenter's Gift」 DS4「電話の会話」 DS5「遠案内」 DS7「買い物」	4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 2月	
B-8	友情、信頼	「走れメロス」	11月								U2「A Trip to the UK」 A1「海外旅行」 A2「夏休みの旅行計画」 DS2「いいね！にお願い」 A1「仕事紹介」 A2「夢の世界旅行」 DS「メール」 LR1「The Carpenter's Gift」 U4「Homestay in the United States」 A1「今日の天気」 A2「家での決まりごと」 DS4「電話の会話」 DS5「遠案内」 DS7「買い物」	5月 6月 9月 10月 11月 2月	
B-9	相互理解、寛容	「話し合いで問題を検討しよう」 リンクマップによる話し合い	2月								P1「将来の夢」 U5「Universal Design」 P3「好きなこと」	7月 10月 3月	
C-10	道法精神、公徳心					「近代の日本と世界」 「4 立憲制国家の成立」	2月						
C-11	公平、公正、社会正義	「卒業ホームラン」 「小さな労働者」 「走れメロス」 「カメレオン」	5月 7月 11月 3月			「中世の日本」 「2 室町幕府と下廻上」 「近世の日本」 「2 江戸幕府の成立と東アジア」 「3 産業の発達と元禄文化」 「4 幕府政治の改革と農村の変化」 「近代の日本と世界」 「欧米の発展とアジアの植民地化」 「2 近世から近代へ」 「3 近代国家へのあゆみ」 「4 立憲制国家の成立」 「5 日清・日露の戦争と東アジアの動き」 「6 近代日本の社会と文化」	10月 11月 12月 1月 2月 3月				U1「A Friend in a Sister School」 A1「休職の思い出」 A2「好みは変わる？」	4月	
C-12	社会参画、公共の精神	「小さな労働者」	7月			「近代の日本と世界」 「6 近代日本の社会と文化」	3月				U3「Career Day」	6月	
C-13	勤労					「4 幕府政治の改革と農村の変化」	12月				U3「Career Day」 P1「将来の夢」 U5「Universal Design」	6月 7月 10月	

第2学年 年間指導計画 別葉（その2）

内容項目	主題名	国語	月	社会				数学	月	理科	月	英語	月
				地理	月	歴史	月						
C-14	家族愛、家庭生活の充実	「字のない葉書」 「卒業ホームラン」	5月										
C-15	よりよい学校生活、集団生活の充実			「3 日本の諸地域」 「6 東北地方」 「7 北海道地方」	4月							P1「将来の夢」 7月	
C-16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「経節—世界に誇る伝統食」	6月	「3 日本の諸地域」 「6 東北地方」 「7 北海道地方」 「4 身近な地域の調査」	4月	「1 歴史のとらえ方」	5月				U6「Rakugo in English」 A1「英語簿語家への道」 A2「何がある？」 P2「町紹介」	11月 12月	
C-17	我が国の伝統文化の尊重、国を愛する態度			「3 日本の諸地域」 「6 東北地方」 「7 北海道地方」	4月	「1 歴史のとらえ方」 「中世の日本」 「1 鎌倉幕府の成立」 「近世の日本」 「2 江戸幕府の成立と東アジア」 「3 産業の発達と元禄文化」 「近代の日本と世界」 「2 近世から近代へ」 「3 近代国家へのあゆみ」 「4 立憲制国家の成立」 「5 日清・日露の戦争と東アジアの動き」 「6 近代日本の社会と文化」	5月 9月 11月 12月 1月 2月 3月		「地球の大気と天気の変化」 「2 天気の変化と大気の動き」 「3 大気の動きと日本の四季」	11月 12月	U1「A Friend in a Sister School」 A1「休日の思い出」 A2「好みは変わる？」 U2「A Trip to the U.K.」 A1「海外旅行」 A2「夏休みの旅行計画」 U6「Rakugo in English」 A1「英語簿語家への道」 A2「何がある？」	4月 5月 11月	
C-18	国際理解、国際貢献	「わたしが一番きれいだったとき」	3月			「古代までの日本」 「1 人類の始まりと文明」 「中世の日本」 「1 鎌倉幕府の成立」 「近世の日本」 「2 江戸幕府の成立と東アジア」 「近代の日本と世界」 「欧米の発展とアジアの植民地化」 「近代の日本と世界」 「2 近世から近代へ」 「3 近代国家へのあゆみ」 「5 日清・日露の戦争と東アジアの動き」	6月 9月 11月 1月 2月 3月						
D-19	生命の尊重	「平家物語」 「走れメロス」	10月 11月						「動物の生活と生物の進化」 「1 生物の体と細胞」 「2 生命を維持するはたらき」 「3 感覚と運動のしみ」 「4 動物のなにか」	7月 9月	LR2「Try to Be the Only One」 U7「The Movie Dolphin Tale」 A1「映画ヒットチャート」 A2「どちらを買いたい？」 名作鑑賞「I Always Love You」	1月 3月	
D-20	自然愛護	「落葉松」 「萩草子、徒然草」 「歴史の物差し—水月湖の年輪」	10月 12月	「3 日本の諸地域」 「6 東北地方」 「7 北海道地方」	4月				「動物の生活と生物の進化」 「生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 「1 生物の体と細胞」 「2 生命を維持するはたらき」 「3 感覚と運動のしみ」 「4 動物のなにか」 「5 生物の移り変わりや進化」 「地球の大気と天気の変化」 「ダイナミックな霧「塩川あらし」」 「1 空気中の水の変化」 「2 天気の変化と大気の動き」 「3 大気の動きと日本の四季」	6月 7月 9月 10月 11月 12月	U0「My Spring Vacation」 U4「Homestay in the United States」 A1「今日の天気」 A2「家での決まりごと」 LR3「Cooking with the Sun」	4月 9月 3月	
D-21	感動、畏敬の念	「歴史の物差し—水月湖の年輪」	12月						「動物の生活と生物の進化」 「生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 「1 生物の体と細胞」 「2 生命を維持するはたらき」 「3 感覚と運動のしみ」 「4 動物のなにか」 「5 生物の移り変わりや進化」 「地球の大気と天気の変化」 「ダイナミックな霧「塩川あらし」」 「1 空気中の水の変化」 「2 天気の変化と大気の動き」 「3 大気の動きと日本の四季」	6月 7月 9月 10月 11月 12月	LR2「Try to Be the Only One」 U7「The Movie Dolphin Tale」 A1「映画ヒットチャート」 A2「どちらを買いたい？」	1月	
D-22	よりよく生きる喜び	「未来へ」 「落葉松」	4月 10月									U5「Universal Design」 10月	

第2学年 年間指導計画 別葉（その3）

内容項目	主題名	音楽				美術	月	保健体育	月	技術	月	家庭科	月	
		一般	月	音楽	月									
A-1	自主、自律、自由と責任							『3 傷害の防止』 『5 応急手当の基本』	11月	『B エネルギー変換に関する技術』 『4 エネルギー変換の実験』 『5 製作品の構想と設計・製作』 『D 情報に関する技術』 『3 情報通信ネットワークと情報セキュリティ』 『4 情報モラルと知的財産』	7月 9月 2月 3月	『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理 『2 私たちの衣生活と住生活』 『2 住生活と自立』 ・安全で安心な住まい ・災害に備えた住まい方 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 『選択』 『生活の課題と実践』 ・災害に備えた住まい方の工夫 『3 私たちの成長と家族・地域』 『1 家族・家庭と地域』 ・中学生としての自立	4月 10月 11月 12月	
A-2	節度、節制							『2 運動やスポーツが心身の発達にあたる効果と安全』 『1 運動やスポーツが体にあたる効果』 『3 安全な運動やスポーツの行い方』 『2 健康と環境』 『2 快適な温暖条件と明るさ』 『3 空気の汚れと換気』 『3 傷害の防止』 『1 傷害の発生要因と防止』	4月 5月 6月 9月	『D 情報に関する技術』 『3 情報通信ネットワークと情報セキュリティ』	2月	『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理 ・地域の食材を生かした調理 『2 私たちの衣生活と住生活』 『3 生活を豊かにするために』 ・小物作り ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 『3 私たちの成長と家族・地域』 『1 家族・家庭と地域』 ・中学生としての自立 ・家庭生活と地域との関わり	4月 5月 6月 7月 10月 11月 12月	
A-3	向上心、個性の伸長							『学びを深めよう／表現の可能性を求めて』 『新鮮な視点でとらえよう』	4月				『2 私たちの衣生活と住生活』 『3 生活を豊かにするために』 ・小物作り	9月
A-4	希望と勇氣、克己と強い意志	『曲想を生かして、表現を工夫しよう』 『今この時』 『メッセージ』 『詩と音楽とのかわりを理解して、表現を工夫しよう』 『風をみつけて』 『曲の構成を理解して、曲想を味わおう』 『時の旅人』	4月 6月 7月					『2 運動やスポーツが新進の発達にあたる効果と安全』 『2 運動やスポーツが心にあたる効果』	4月					
A-5	真理の探究、創造									『C 生物育成に関する技術』 『3 作物の栽培』 『5 動物の飼育』 『6 水産生物の栽培』 『7 生物育成に関する技術の評価・活用』 『B エネルギー変換に関する技術』 『3 動力の利用』 『5 製作品の構想と設計・製作』 『6 エネルギー変換に関する技術の評価・活用』	5月 7月 12月			
B-6	思いやり、感謝							『産ることから考える』 『豊かなイメージで伝えよう』	9月 10月				『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理 ・地域の食材を生かした調理 『3 私たちの成長と家族・地域』 『1 家族・家庭と地域』 ・家庭や家族の基本的な機能 ・中学生としての自立 ・家庭生活と地域との関わり 『2 幼児の生活と家族』 ・幼い頃の思い出 ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び	4月 5月 12月 1月 2月 3月
B-7	礼儀												『2 私たちの衣生活と住生活』 『3 生活を豊かにするために』 ・小物作り 『3 私たちの成長と家族・地域』 『2 幼児の生活と家族』 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活と遊び	9月 2月 3月
B-8	友情、信頼	『仲間とともに、表情豊かに合奏しよう』 『さらさら』 『心の中にきらめいて』 『今日は君のBirthday』 『大切なもの』	3月	『いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう』 『さらさら』 『日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう』 『響せの合奏』によるリズムアンサンブル	2月									
B-9	相互理解、寛容							『東へ西へ…／現代に受けつがれる浮世絵版画』	12月					
C-10	遵法精神、公徳心							『3 傷害の防止』 『1 傷害の発生要因と防止』 『2 交通事故の要因と傷害の防止』 『3 犯罪被害の防止』	9月 10月	『B エネルギー変換に関する技術』 『4 エネルギー変換の実験』 『5 製作品の構想と設計・製作』 『D 情報に関する技術』 『4 情報モラルと知的財産』	7月 9月 10月 2月 3月			
C-11	公平、公正、社会正義							『3 傷害の防止』 『3 犯罪被害の防止』①	10月					
C-12	社会参画、公共の精神							『3 傷害の防止』 『2 交通事故の要因と傷害の防止』 『4 自然災害による傷害の防止』	10月	『B エネルギー変換に関する技術』 『5 製作品の構想と設計・製作』 『6 エネルギー変換に関する技術の評価・活用』 『D 情報に関する技術』 『1 情報とわたしたちの生活』 『2 情報通信ネットワークの利用』 『4 情報モラルと知的財産』 『4 情報モラルと知的財産』 『5 コンピュータと情報処理』	12月 1月 2月 3月	『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・地域の食材を生かした調理	5月	
C-13	勤労							『産ることから考える』 『豊かなイメージで伝えよう』	9月 10月					

第2学年 年間指導計画 別葉 (その4)

内容項目	主題名	音楽				美術	月	保健体育	月	技術	月	家庭科	月		
		一般	月	器楽	月										
C-14	家族愛、家庭生活の充実											『2 私たちの衣生活と住生活』 『3 生活を豊かにするために』 ・小物作り 『2 住生活と自立』 ・住まいの役割 ・生活行為と住空間 ・日本の住まいと住まい方 資料「日本各地の住まいの例」 ・安全で安心な住まい ・災害に備えた住まい方 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 『選択』④ 『生活の課題と実践』 『災害に備えた住まい方の工夫』 『3 私たちの成長と家族・地域』 『1 家族・家庭と地域』 ・家庭や家族の基本的な機能 ・家庭生活と地域との関わり 『2 幼児の生活と家族』 ・幼い頃の振り返り ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び	5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月		
C-15	よりよい学校生活、集団生活の充実	『パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう』 『歌をくぐり』 『夢の世界を』 『フーガ短調』	5月									『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理	4月		
C-16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	『日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 『日本の郷土芸能』	1月 2月	『リコーダーを演奏しよう』 アルトリコーダー LESSON2 アルトリコーダー LESSON3	4月	『手作りりを味わう喜び／受けつぎつくる人の姿／木でつくる／金属でつくる』 『まちを彩るパブリックアート』	6月 3月				『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理 ・地域の食材を生かした調理 『2 私たちの衣生活と住生活』 『2 住生活と自立』 資料「日本各地の住まいの例」 『2 私たちの衣生活と住生活』 ・災害に備えた住まい方 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 『3 私たちの成長と家族・地域』 『1 家族・家庭と地域』 ・家庭生活と地域との関わり ・資料「地域の人と関わることの大切さ」	4月 5月 6月 9月 10月 11月 12月			
C-17	我が国の伝統文化の尊重、国を愛する態度	『日本の歌やカンツォーネのよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』 『常城の月』 『歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 『動運線』 『日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 『受け継ごう！郷土の芸能』	10月 12月 1月 2月	『リコーダーを演奏しよう』 アルトリコーダー LESSON2 アルトリコーダー LESSON3 『尺八を演奏しよう』 『三味線を演奏しよう』 『さらさら』 『いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう』 『さらさら』 『日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう』 『響せの合方』によるリズムアンサンブル	4月 1月 2月	『手作りりを味わう喜び／受けつぎつくる人の姿／木でつくる／金属でつくる』 『響け！生かす豊かな世界／水まわりの技法』 『東へ西へへ〜現代に受けつがれる浮世絵版画』	6月 11月 12月				『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理 ・地域の食材を生かした調理 『2 私たちの衣生活と住生活』 『2 住生活と自立』 資料「日本各地の住まいの例」 『2 私たちの衣生活と住生活』 ・日本の住まいと住まい方 ・災害に備えた住まい方 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 資料「日本各地の住まいの例」	4月 5月 6月 7月 9月			
C-18	国際理解、国際貢献	『曲の構成を理解して、曲想を味わおう』 『交響曲第5番 ハ短調』 『日本の歌やカンツォーネのよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう』 『サンタルチア』 『花の季節』 『オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう』 『アイダ』 『日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう』 『世界の諸民族の音楽』	7月 10月 11月 1月 2月	『リコーダーを演奏しよう』 アルトリコーダー LESSON2 アルトリコーダー LESSON3 『パートの役割を感じ取りながら、豊かな響きになるように工夫して演奏しよう』 『ラヴァーズコンチェルト』 『パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しよう』 『Edelweiss』『春』他 『いろいろな奏法による音色の違いを感じ取って演奏しよう』 『日本の伝統音楽特有のリズムや速度の変化を感じ取って演奏しよう』 『響せの合方』によるリズムアンサンブル	4月 5月 2月	『名画の魅力に迫る／光が生むリアルとドラマ』	2月				『1 私たちの食生活』 『3 調理と食文化』 ・日常食の調理 ・地域の食材を生かした調理 『2 私たちの衣生活と住生活』 『2 住生活と自立』 資料「日本各地の住まいの例」	4月			
D-19	生命の尊重											『3 私たちの成長と家族・地域』 『1 家族・家庭と地域』 ・家庭や家族の基本的な機能 ・家庭生活と地域との関わり ・資料「地域の人と関わることの大切さ」 『2 幼児の生活と家族』 ・幼い頃の振り返り ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣の習得 ・幼児の生活と遊び	12月 1月 2月 3月		
D-20	自然愛護	『詩と音楽とのかわかりを理解して、表現を工夫しよう』 『夏の思い出』 『夏の日の贈りもの』 『夏は来ぬ』	6月									『2 健康と環境』 『4 水の役割と飲料水の条件』 『5 生活にともなう廃棄物の処理』 『6 環境問題への取り組み』 『3 災害の防止』 『4 自然災害による被害の防止』	6月 10月	『C 生物育成に関する技術』 『3 作物の栽培』 『5 動物の飼育』 『6 水産生物の栽培』 『7 生物育成に関する技術の評価・活用』 『B エネルギー変換に関する技術』 『1 わたしたちの生活とエネルギー変換』 『2 電気エネルギーの利用』 『5 製作品の構想と設計・製作』 『6 エネルギー変換に関する技術の評価・活用』 『D 情報に関する技術』⑩ 『1 情報とわたしたちの生活』 『2 情報通信ネットワークの利用』 『4 情報モラルと知的財産』 『5 コンピュータと情報処理』	4月 5月 6月 12月 1月 3月
D-21	感動、畏敬の念	『響きの美しさを味わおう』 『アカベラの合唱曲』 『Kum Ba Yah』	9月			『瞬間の美しさを形に／粘土でつくる』	7月								
D-22	よりよく生きる喜び														

第3学年 年間指導計画 別業（その1）

内容項目	主 題 名	国語	月	社会			数学	月	理科	月	英語	月
				歴史	月	公民						
A-1	自主、自律、自由と責任	「評価しながら聞こう」 「いつものように新聞が届いた」	5月 9月			「公民との出会い」 「私たちが生きる現代社会の特色」 「1 私たちが生きる現代社会の特色」 「2章 民主権と日本の政治」 「3 国の政治のしくみ」 「3 私たちの生活と経済」 「1 消費生活と経済のしくみ」						
A-2	節度、節制	「形」 「論語」	5月 10月			「2章 民主権と日本の政治」 「3 国の政治のしくみ」 「3 私たちの生活と経済」 「1 消費生活と経済のしくみ」						
A-3	向上心、個性の伸長	「俳句を作って句会を開こう」 「形」 「編集して伝えよう」 「論語」 「今の思いをまとめよう」	4月 5月 6月 10月 2月									P3「中学校生活」 12月
A-4	希望と勇氣、克己と強い意志	「敬語」 「いつものように新聞が届いた」 「生ましめんな」 「最後の一句」	11月 1月 3月									U6「Striving for a Better World」 FR 「Sato Mamoru Making the Best of Life」 「Malala Yousafzai Education First」 11月 3月
A-5	真理の探究、創造	「百科事典少女」 「万葉・古今・新古今」 「秋のぼたん道」 「敬語」 「話し合いて問題を解決しよう」 「今の思いをまとめよう」 「レモン裏歌」	5月 10月 11月 2月 3月			「公民との出会い」 「私たちが生きる現代社会の特色」 「1 私たちが生きる現代社会の特色」 「2 私たちの生活と政治」 「2章 民主権と日本の政治」 「1 民主政治と政治参加」 「2 くらしを支える地方自治」 「3 国の政治のしくみ」	全領域	全	「化学変化とイオン」 「水素と酸素から電気をつくる」 「運動とエネルギー」 「どのようなときに運動がはじまるのだろうか」 「1 力のつり合い」 「2 物体の運動」 「3 仕事とエネルギー」 「4 多様なエネルギーとその移り変わり」 「5 エネルギー資源とその利用」 「自然と人間」 「4 科学技術と人間」	5月 7月 9月 10月		
B-6	思いやり、感謝	「百科事典少女」 「評議しながら聞こう」 「サハラ砂漠の茶会」 「論語」 「何のために『働く』のか」 「話し合いて問題を解決しよう」 「生ましめんな」	5月 9月 10月 12月 2月 3月			「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」						DS4「道案内」 LR2「The Green Door」 英語の歌 10月 1月
B-7	礼儀	「読書活動を楽しもう」 「観察・分析して論じよう」 「場面に応じて話そう」	7月 9月									DS1「食事の会話」 DS2「手紙」 DS3「おそい」 DS4「道案内」 B-7 DS5「電話の会話」 5月 6月 10月
B-8	友情、信頼	「風の唄」 「恋の歌」 「初恋」	5月 9月 10月			「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」						名作鑑賞「The Letter」 B-8 2月
B-9	相互理解、寛容	「百科事典少女」 「読書活動を楽しもう」 「黄金の扇風機」 「書評に親しもう」 「観察・分析して論じよう」 「敬語」	5月 7月 9月 11月			「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「1 法に基づく政治と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」						U5「Living with Robots-For or Against」 A1「優先席に座ってもよい？」 A2「紙の辞書と電子辞書」 A1「尊敬する人物」 A2「習字カク文」 DS6「レポート」 P3「中学校生活」 10月 11月 12月
C-10	道徳精神、公徳心	「今の思いをまとめよう」 「絶滅の意味」 「編集して伝えよう」 「いつものように新聞が届いた」 「話し合いて問題を解決しよう」	5月 6月 10月 1月 2月	「5 近代の日本と世界」 「2 二度の世界大戦と日本」 「1 第一次世界大戦と戦後の世界」 「2 大正デモクラシーの時代」 「3 世界恐慌と中国との戦争」 「6 近代の日本と世界」 「1 平和と民主化への動き」 「2 国際化する世界と日本」	4月	「公民との出会い」 「私たちが生きる現代社会」 「3 現代社会をとおる見方や考え方」 「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「1 法に基づく政治と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」 「2章 民主権と日本の政治」 「1 民主政治と政治参加」 「2 くらしを支える地方自治」 「3 国の政治のしくみ」 「3 私たちの生活と経済」 「4 財政と国民の福祉」 「4 私たちと国際社会」 「1 国家と国際社会」 「5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-」						
C-11	公平、公正、社会正義			「5 近代の日本と世界」 「2 二度の世界大戦と日本」 「1 第一次世界大戦と戦後の世界」 「2 大正デモクラシーの時代」 「3 世界恐慌と中国との戦争」 「6 近代の日本と世界」 「1 平和と民主化への動き」 「2 国際化する世界と日本」	4月 5月 6月	「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」 「2章 民主権と日本の政治」 「1 民主政治と政治参加」 「3 国の政治のしくみ」 「3 私たちの生活と経済」 「2 生産の場としての企業」 「3 金融のしくみとお金の価値」 「4 私たちと国際社会」 「1 国家と国際社会」 「5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-」						U3「Fair Trade Event」 A1「カーナってどんな国？」 A2「これまでの経験」 FR 「Malala Yousafzai Education First」 6月 3月
C-12	社会参画、公共の精神	「百科事典少女」 「観察・分析して論じよう」	8月 9月									
C-13	勤労	「何のために『働く』のか」 「いつものように新聞が届いた」	12月 1月	「6 近代の日本と世界」 「2 国際化する世界と日本」	6月	「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」 「2章 民主権と日本の政治」 「3 国の政治のしくみ」 「3 私たちの生活と経済」 「2 生産の場としての企業」 「3 金融のしくみとお金の価値」 「4 私たちと国際社会」 「1 国家と国際社会」 「5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-」						U0「Countries around the World」 4月

第3学年 年間指導計画 別業（その2）

内容項目	主題名	国語	月	社会			数学	月	理科	月	英語	月	
				歴史	月	公民							月
C-14	家族愛、家庭生活の充実	「レモン哀歌」① 「最後の一句」③	3月										
C-15	よりよい学校生活、集団生活の充実	「いつものように新聞が届いた」	1月			「公民との出会い」 「1 私たちと現代社会」 「3 現代社会をとらえる見方や考え方」 「2 私たちの生活と政治」 「2章 民主主義と日本の政治」 「1 民主政治と政治参加」 「2 くらしを支える地方自治」	7月 10月				U4「To Our Future Generations」 U6「Striving for a Better World」 A1「尊敬する人物」 A2「記憶力クイズ」 DS8「レポート」	9月 11月	
C-16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「故郷」 「いつものように新聞が届いた」	11月 1月			「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」 「2章 民主主義と日本の政治」 「2 くらしを支える地方自治」	9月 10月		「化学変化とイオン」 「1 水溶液とイオン」 「2 酸・アルカリと塩」 「自然と人間」 「2 人間と環境」	6月 1月			
C-17	我が国の伝統文化の尊重、国を愛する態度	「読書活動を楽しもう」 「恋の歌」 「『おくのほそ道』の旅」 「書評に親しもう」	7月 9月	「5 近代の日本と世界」 「2 二度の世界大戦と日本」 「2 大正デモクラシーの時代」 「3 世界恐慌と中国との戦争」 「5 第二次世界大戦と日本」	4月 5月	「公民との出会い」 「1 私たちと現代社会」 「2 現代社会の文化と私たち」 「4 私たちと国際社会」 「1 国家と国際社会」 「5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-」	7月 1月 2月		「自然と人間」 「3 自然が人間の生活におよぼす影響」	2月 3月	U0「Countries around the World」 U1「Pop Culture Then and Now」 A1「美術館にて」 A2「お気に入りの絵」 P1「日本文化紹介」 P2「修学旅行」	4月 5月 7月	
C-18	国際理解、国際貢献	「黄金の扇風機」 「サハラ砂漠の茶会」	9月	「5 近代の日本と世界」 「2 二度の世界大戦と日本」 「1 第一次世界大戦と戦後の世界」 「3 世界恐慌と中国との戦争」 「5 第二次世界大戦と日本」 「6 現代の日本と世界」 「1 平和と民主化への動き」 「2 国際化する世界と日本」	4月 5月 6月	「公民との出会い」 「1 私たちと現代社会」 「1 私たちが生きる現代社会の特色」 「2 現代社会の文化と私たち」 「2 私たちの生活と政治」 「1章 個人の尊重と日本国憲法」 「1 法に基づく政治と日本国憲法」 「2 日本国憲法と基本的人権」 「3 日本の平和主義」 「4 私たちと国際社会」 「1 国家と国際社会」 「2 国際社会の課題と私たちの取り組み」 「5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-」	7月 9月 10月 1月 2月		「宇宙の中の地球」 「地球はどのような天体なのだろうか」 「自然と人間」 「2 人間と環境」 「自然と人間」 「3 自然が人間の生活におよぼす影響」 「4 科学技術と人間」 「5 科学技術の利用と環境保全」	11月 1月 2月 3月			
D-19	生命の尊重	「生命は」 「風の唄」 「編集して伝えよう」 「レモン哀歌」 「生ましのんかな」	4月 5月 6月 3月	「5 近代の日本と世界」 「2 二度の世界大戦と日本」 「5 第二次世界大戦と日本」 「6 現代の日本と世界」 「1 平和と民主化への動き」	5月 6月			「生命の連続性」 「つなぐる生命」 「1 生物の成長とふえ方」 「2 遺伝の規則性と遺伝子」 「自然と人間」 「1 自然界のつり合い」 「3 自然が人間の生活におよぼす影響」	4月 1月 2月 3月	LR1「A Mother's Lullaby」 U4「To Our Future Generations」 LR3「An Artist in the Arctic」	9月 2月		
D-20	自然愛護	「二つのアザミ」 「絶滅の憂味」 「編集して伝えよう」 「知床-流水を巡る循環」 「サハラ砂漠の茶会」	4月 6月 7月 9月			「4 私たちと国際社会」 「2 国際社会の課題と私たちの取り組み」 「5 私たちの課題-持続可能な社会をめざして-」	1月 2月		「生命の連続性」 「つなぐる生命」 「1 生物の成長とふえ方」 「2 遺伝の規則性と遺伝子」 「宇宙の中の地球」 「1 地球とその外側の世界」 「地球と宇宙」 「2 太陽と恒星の動き」 「3 月と金星の動きと見え方」 「自然と人間」 「山と海に広がる森」 「1 自然界のつり合い」 「2 人間と環境」 「3 自然が人間の生活におよぼす影響」	4月 11月 12月 1月 2月 3月	U0「Countries around the World」 U2「From the Other Side of the Earth」 A1「スタジアムから」 A2「いつからなかよし？」 LR3「An Artist in the Arctic」	4月 5月 2月	
D-21	感動、異歌の念	「俳句の読み方、味わい方」 「百科事典少女」 「『おくのほそ道』の旅」 「万葉・古今・新古今」 「おくのほそ道」	4月 5月 9月 10月	「6 現代の日本と世界」 「2 国際化する世界と日本」	6月	「3 私たちの生活と経済」 「4 財政と国民の福祉」	12月				P2「修学旅行」	7月	
D-22	よりよく生きる喜び	「故郷」	11月									LR3「An Artist in the Arctic」 FR 「Sato Mami/Making the Best of Life」	2月 3月

第3学年 年間指導計画 別業（その3）

内容項目	主題名	音楽				美術	月	保健体育		月	技術		月	家庭科		月
		一般	月	器楽	月			月	月		月	月				
A-1	自主、自律、自由と責任	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」 「名づけられた業」	2月					【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「10 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ」	10月		「D 情報に関する技術」 「6 デジタル作品の設計と制作」	4月5月 6月7月 9月	「3 私たちの成長と家族・地域」 19.5 「3 これからの私と家族」 「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 ・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を目指して 「2 環境に配慮した消費生活」 ・エネルギー消費と環境 ・持続可能な社会を目指そう	7月 9月		
A-2	節度、節制							【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「1 健康の成り立ち」 「2 食生活と健康」 「3 運動と健康」 「4 休養・睡眠と健康」 「5 生活習慣の変化と生活習慣病」 「6 生活習慣病の予防」 「7 喫煙と健康」 「8 飲酒と健康」 「10 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ」 「11 感染症の原因」 「12 感染症の予防」 「15 地域での保健・医療の取り組み」 「16 医薬品の有効利用」 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」	5月 6月 9月 10月 11月 12月							
A-3	向上心、個性の伸長						「私との対話」	4月								
A-4	希望と勇氣、克己と強い意志	「曲想や語感を生かして、表現を工夫しよう」 「きみとともに」 「言葉や音階の特徴を生かして、表現を工夫しよう」 『青空』	5月 7月				「あなたへ～中学校美術からの果立ち」	3月								
A-5	真理の探究、創造										「D 情報に関する技術」 「8 情報に関する技術の評価・活用」	2月				
B-6	思いやり、感謝						「暮らしを心地よくするインテリア」	7月	【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」	12月			「3 私たちの成長と家族・地域」 19.5 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い体験	4月 5月		
B-7	礼儀												「3 私たちの成長と家族・地域」 19.5 「2 幼児の生活と家族」 ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い体験	4月 5月		
B-8	友情、信頼			「曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう」 「チキーン」 「ハートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう」 「美女と野獣」 「海の見える街」 他 「楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して、音きのおもしろさを味わおう」 「打楽器のための小品」 「リズムの変化や重なり方に注目しながら、リズムアンサンブルを楽しもう」 「クラッピングラブソディ第1番」	7月 10月				【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「13 性感染症とその予防」 「14 エイズとその予防」	11月						
B-9	相互理解、寛容													4月		
C-10	遵法精神、公徳心	「ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」 「ルールを守って音楽を楽しもう！」	6月				「問題意識を形に」	6月	【体育編】 「3 文化としてのスポーツの意義」 「1 現代生活におけるスポーツの文化的意義」 「3 人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき」 【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「7 喫煙と健康」 「8 飲酒と健康」 「12 感染症の予防」 「15 地域での保健・医療の取り組み」 「16 医薬品の有効利用」 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」	4月 9月 10月 11月 12月	「D 情報に関する技術」 「6 デジタル作品の設計と制作」 「7 プログラムによる計測・制御」 「8 情報に関する技術の評価・活用」	4月 5月 6月 7月 9月 11月 12月 1月 2月	「3 私たちの成長と家族・地域」 19.5 「3 これからの私と家族」 「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 ・消費者としての自覚 ・販売方法と支払い方法 ・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を目指して 「2 環境に配慮した消費生活」 ・エネルギー消費と環境 ・持続可能な社会を目指そう	6月 7月 9月 11月 12月		
C-11	公平、公正、社会正義							【体育編】 「3 文化としてのスポーツの意義」 「2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割」 【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「13 性感染症とその予防」 「14 エイズとその予防」	4月 11月			「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 ・消費者としての自覚 「2 環境に配慮した消費生活」	9月			
C-12	社会参画、公共の精神										「D 情報に関する技術」 「8 情報に関する技術の評価・活用」	2月				
C-13	勤労							【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」	12月	「D 情報に関する技術」 「8 情報に関する技術の評価・活用」	2月					

第3学年 年間指導計画 別業（その4）

内容項目	主 題 名	音楽				美術	月	保健体育	月	技術	月	家庭科	月	
		一般	月	器楽	月									
C-14	家族愛、家庭生活の充実											3 私たちの成長と家族・地域・19.5 2 幼児の生活と家族 ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い体験	4月 5月	
C-15	よりよい学校生活、集団生活の充実	「パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう」 「風の中の青春」 「仲間とともに、表情豊かに合奏しよう」 「旅立ちの日に」	9月 3月			「共同制作の魅力」	9月	【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「11 感染症の原因」 「12 感染症の予防」 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」	10月 12月					
C-16	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「仲間とともに、表情豊かに合奏しよう」 「いつまでも」	3月			「アートを体験する場に出かけよう」 「日本の世界文化遺産」 「自然を愛でる空間」 「デザインで変える現在と未来」 「魅力が伝わるパッケージ」	11月 12月							
C-17	我が国の伝統文化の尊重、国を愛する態度	「雅楽や能の特徴を理解して、その魅力を味わおう」 「平調」 「越天楽」 「羽衣」	12月			「アートを体験する場に出かけよう」 「日本の世界文化遺産」 「自然を愛でる空間」	11月					「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 「2 環境に配慮した消費生活」 ・持続可能な社会を目指そう	9月	
C-18	国際理解、国際貢献	「曲想や語感を生かして、表現を工夫しよう」 「陽れソレントへ」 「Yesterday」 「ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」 「ポピュラー音楽」 「パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう」 「ア・ラ・カンパニ」 「音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう」 「藤巻余の絃」 「フルタ」 「曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう」 「世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」 「世界の諸民族の音楽」	5月 6月 9月 10月 11月 1月	「曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫して演奏しよう」 「テクノ」 「パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう」 「Yesterday」	7月	「『ゲルニカ』は語る」	1月	【体育編】 「3 文化としてのスポーツの意義」 「2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割」	4月			「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 ・資料「フェアトレード」	9月	
D-19	生命の尊重	「日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう」 「花の街」	4月			「『ゲルニカ』は語る」	1月	【保健編】 「4 健康な生活と病気の予防」 「7 喫煙と健康」 「8 飲酒と健康」 「9 薬物乱用と健康」 「13 性感染症とその予防」 「14 エイズとその予防」 「17 個人の健康を守る社会の取り組み」	9月 10月 11月 12月			「3 私たちの成長と家族・地域・19.5 2 幼児の生活と家族」 ・幼児の生活と遊び ・幼児との触れ合い体験	4月 5月	
D-20	自然愛護	「仲間とともに、表情豊かに合奏しよう」 「大地讃頌」	2月			「撮影の第一歩」 「ここでシャッターを切った理由」 「写真撮影の第一歩」	7月 10月			「D 情報に関する技術」 「7 プログラムによる計測・制御」	10月 11月 12月 1月 2月		「4 私たちの消費生活と環境」 「1 私たちの消費生活」 「2 環境に配慮した消費生活」 ・エネルギー消費と環境 ・持続可能な社会を目指そう	9月
D-21	感動、畏敬の念	「日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう」 「花」 「華楽」 「世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」 「美しい約束」 「仲間とともに、表情豊かに合奏しよう」 「大地讃頌」	4月 1月 2月			「刻まれた祈り／仏像の種類」	10月							
D-22	よりよく生きる喜び					「美を探し求めて／夢を形にするデザイン」 「刻まれた祈り／仏像の種類」	5月 10月							

第1学年道徳学習指導案

授業者 山口 勝代

1 日 時 平成29年10月26日(木) 2校時

2 学 級 1年2組 29名

3 主 題 日本人としての自覚 (4-9)【C-16】

4 資 料 『明珍火箸』【出典：心かがやく(兵庫県教育委員会)】

5 ねらい

燃料革命により火箸の使い道がなくなり、明珍家が窮地に陥り家が人手に渡る経験をする。「伝統を絶やさない」「いいものを作っていきたい」という主人公の強い思いを感じ、文化・伝統の継承と発展に寄与しようとする道徳的意欲と態度を育てる。

6 指導にあたって

(1) 生徒観

本学級の生徒は明るく元気である。授業中の発表もよくする。反面、「正論でないといけない」「人と同じ意見でないといけない」などと考え、自分の意見を言わない生徒も多い。また、先生が正しいことへ導くのが授業だと考え、道徳が嫌いだと思っていた生徒が多い。4月から「色々な考え方があっていい」として一人一人の意見を大切にしている授業作りをしてきた。しっかり自分の意見を持っている生徒が多いので、少人数での話し合いや文章を書くことを取り入れ、素直な意見を出せるようにした。また、クラス全体で意見の交流をしっかりとできるよう努めてきた。「自分とは違う意見がある」「そんな考え方もある」と多様な考えをお互いに理解できるようになってきた。

(2) 教材観

この資料は、世界的に知られている姫路の代表的な伝統工芸品「明珍火箸」を題材にしている。明珍家は、もともと戦乱の時代に、鎧や兜を作っていた。時代の流れと共に変化する伝統文化を守り受け継ぐ苦労やその思いを感じさせながら、伝統文化を継承していこうとする気持ちと態度を持たせる教材である。

(3) 指導観

大変な火箸作りの作業を知る中で、明珍さんの手に表れている生き方を感じさせた。伝統文化を継承している人たちの思いを重ね合わせながら、伝統文化を守り受け継ぐ苦労やその思いを感じ、今まで関心のなかった伝統文化について考え、わが故郷の伝統文化にも目を向けさせ、伝統文化を継承していこうとする気持ちと態度を持たせたい。

7 準備物 ワークシート、明珍火箸、写真

8 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1 丹波市や春日町の伝統文化について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>丹波市や春日町に、昔からある伝統的なものは、どんなものがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦国太鼓 ・ 黒井城祭り ・ 桐下駄 ・ 大八布窯 ・ 籠 </div> <p>2 私たちの道徳 P206～207 を読み、本時の学習の内容を知る。</p> <p>資料の題名「明珍火箸」に見て、音色も聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「明珍火箸」の音色を聞いて、どんな感想を持ちましたか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹波市・春日町の伝統文化について発表させる。 ・ 知らない人には、伝統文化あることを知らせる。 ・ 桐下駄・大八布窯・籠などがあることを知らせる。意外と知らないことにも気づかせる。 ・ 私たちの道徳P206～207を教師が読み、「伝統文化の継承」について考えることを知らせる。 ・ 明珍火箸は、世界に知られる姫路の代表的な伝統工芸品であることを知らせる。 ・ 明珍火箸を鳴らし、その音色を聞かせ、美しい響きを感じさせる。
展開	<p>3 資料「明珍火箸」を読む。</p> <p>4 火箸づくりの作業について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>火箸づくりとは、どんな作業ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火をたく ・ 仕事場は熱い ・ 手作業 ・ しんどい ・ 腰を屈めて作業 ・ 汗まみれになる ・ 何百回も繰り返し鉄を鍛える ・ 黙々と火箸を鍛える。 ・ 朝6時半から、火作りし、夜まで鉄を打つ。 ・ 休息がなければ、過酷な作業に耐えられない。 </div> <p>* 明珍火箸の歴史を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦乱の時代に、鎧兜を作っていたのが始まり。 ・ 江戸時代の泰平な時代になり、需要が減った。 ・ 18世紀、前橋から姫路に移る。 ・ 甲冑をつくる技を残すため、火箸に変えた。 ・ 燃料革命により、火箸の使い道がなくなった。 ・ 明珍さんが、生まれ育った家が人手に渡る経験をし、鉄を鍛える技を残して生きてと強く思った。 ・ 火箸4本を組み合わせ、風鈴を考案した。 ・ 近年、古代花器セットやチタン製の鈴、名潤琴を発案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が範読する。 ・ 火箸づくりの作業について、できるだけ短い時間で、整理する。 ・ 火箸づくりの作業について写真を見せながら、補足説明をする。 ・ 明珍さんの手に表れている生き方を感じさせる。 ・ 明珍火箸の歴史について写真を見せながら、補足説明をする。

	<p>5 火箸作りを続ける理由を考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">楽な仕事でないのに、やり続けられるのはなぜだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統を守るため ・明珍家を守るため ・伝統技術を受け継ぐため ・生活するため ・でき上がった時の喜び ・使命感 ・自分にしか出せない音色 ・誇り ・意地 ・プライド ・明珍の熱い思い ・職人魂 ・明珍さんの生き方そのもの ・機械では、手作業ならではの音色を出したい。 ・欲を出したら、よいものにはならない ・自分の儲けをこえた純粋な心 <p>6 伝統文化の継承について考える</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あなたなら、伝統文化を引き継ぎますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぐ ・引き継がない <p>7 あなたは、伝統文化にどう関わっていきますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に必ず参加する ・昔からあるものを大切にしてい ・古きものを新しいものに置き換えて、伝統文化が消えないようにしたい。 	<p>伝統を守り受け継ぐ苦労やその思い、を感じ取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度「明珍火箸」の音色を聴かせる。明珍さんの生き方そのものが音色に表れていることを気づかせる。 ・班で、意見を交流させる 班長を中心に、交流を進める。出た意見はすべてホワイトボードに記入させる。 <p>・自分なら伝統文化をどうするのか。「はい」「いいえ」の答えとその理由、また、答えに悩んでいる人の思いも取り上げ、その理由も発表させる。</p> <p>・丹波市や春日町の昔からあるものを再度見つめ直し、自分がどう関わっていくのかをしっかりと考えさせる。・伝統を守り受け継ぐ苦労やその思いを感じ取らせる。</p>
ま と め	<p>8 今日の授業を振り返りながら、自分の考えを書く。</p>	<p>・伝統文化を継承している人たちの思いを重ね合わせながら、自分の思いをしっかりと書かせる。</p>

「明珍火箸」

1年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

1 丹波市や春日町の伝統文化は、どんなものがありますか。

--

2 明珍火箸について、どう思いましたか。

--

3 火箸づくりとは、どんな作業ですか。

--

4 楽な仕事でないのに、やり続けられるのはなぜだと思いますか。

--

5 今日の授業を振り返りながら、自分の考えや感想を書きなさい。

教材分析シート 主人公が道徳的価値の自覚をする場合

1	教材を読む (骨格をつかむ)	①生き方を自覚したのは誰か(主人公) ②生き方を自覚することになった出来事はなにか ③生き方を自覚するのはどこか	明珍 宗理氏 「明珍家の鉄を鍛える技を残していかなければならぬ」「いいものをつくっていききたい」という使命感に裏打ちされた強い思いができた。「この家に生まれたことも、背負った苦勞も、皆、必然のこと。」宿命を受け入れ、伝統の技法を絶やさない工夫をした。 燃料革命により、火箸の使い道がなくなり、明珍家は窮地に陥る。子どものころに、生まれ育った家が人手に渡る経験をし、苦しい生活を余儀なくされた。	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	主題・内容項目 「日本人としての自覚」4-(9) (C-(16))
2	戦乱の時代 泰平の時代 (需要が減った) before	鐘・兜 火箸 燃料革命 (使い道がなくなった)	出来事 (助言) 「この家に生まれ、苦しい生活も、背負った苦勞も、皆、必然のこと」宿命を受け入れた。 after 強い思い 「伝統の技法を絶やさない」「いいものをつくっていききたい」 誇り・職人魂	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	予想される児童生徒の反応(答) ・わかりません。 ・戦国太鼓 ・大納言小豆 ・火をたく ・仕事場は熱い ・手作業・腰をかがめての作業 ・汗まみれになる ・何百回も繰り返し鉄を鍛える ・黙々と火箸を鍛える ・朝早くから夜まで鉄を打つ ・休息がなければ、過酷な作業になれない。
3	中心発問 楽な仕事でないのに、やり続けられるのはなぜですか。	自覚 自覚	「この家に生まれ、苦しい生活も、背負った苦勞も、皆、必然のこと」宿命を受け入れた。 「明珍家の鉄を鍛える技を残していかなければならぬ」という使命感に裏打ちされた強い思いができた。「この家に生まれたことも、背負った苦勞も、皆、必然のこと。」宿命を受け入れ、伝統の技法を絶やさない工夫をした。 燃料革命により、火箸の使い道がなくなり、明珍家は窮地に陥る。子どもに、生まれ育った家が人手に渡る経験をし、苦しい生活を余儀なくされた。	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)
4	中心発問に対する予想される生徒の反応(答え)	800年続いた伝統を守るため ・宿命 ・明珍さんにしか出せない音色 ・機会ではない出せない、手作業ならではの音色を出したい ・明珍さんの生き方そのもの ・使命感 補助発問(道徳的価値をさらに深く考えられるように問いを準備する) ・火箸作りとは、どんな作業ですか。 ・伝統文化を引き継ぎますか。	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)
5	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)
6	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)
7	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)
8	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)

資料名

明珍火箸 兵庫版道徳教育副読本 「心 かがやく」

内容項目

日本人としての自覚 4 - (9) (C - (16))

時間	教師	生徒名等	児童生徒
9:45	<p>今日は、伝統文化について考えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>丹波市や春日町に、昔からある伝統的なものは、どんなものがありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・この前、秋のお祭りがあったね。 ・黒井小の子たちは、黒井城祭りや戦国太鼓を経験しているね。 ・船城地区では、桐下駄があるね。 ・大路地区では、竹籠があるよね。 ・黒井城跡に上ると、この季節、雲海があるね。 ・食べ物だと、大納言小豆、スイートコーンなどがあって、おいしいね。 ・意外と知らないよね。 <p>「私たちの道徳」 P.206~207 を読みます。 日本には、四季もあり、お餅つきもあり、折り紙、歌舞伎、太鼓などがあります。 年末、お餅つきを家でしますか？</p> <p>今日は、「明珍火箸」について考えたいと思います。これが、「明珍火箸」です。 見たことがありますか。</p> <p>世界で知られている姫路の代表的な工芸品です。この写真が明珍宗理氏で、この人が作られたものです。</p> <p>これは、何ですか。</p> <p>何でできているかわかりますか。</p>	<p>A</p> <p>数人</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>E</p>	<p>分かりません。(伝統文化と言われても頭に浮かばない様子であった。)</p> <p>黒井城祭り、戦国太鼓、おみこしがあります。</p> <p>(伝統文化に目を向けたことがあまりないので、わが故郷にも色々あるけど、知らない自分を感じている様子)</p> <p>はい(数人は手を挙げる)。 いいえ(手を挙げる)。</p> <p>はい(手を挙がらず)。 いいえ(手を挙げる)。</p> <p>風鈴。 お箸。 さい箸。</p> <p>いいえ(手を挙げる)。 ゴミ拾う時にはさむものですか。</p>

<p>9:52</p>	<p>「火箸」です。 「火箸」ってわかりますか。</p> <p>それは火ばさみやね。</p> <p>この写真を見てください。 これが、火箸です。知っていますか。</p> <p>知らない人が多いですよ。最近、火鉢で暖を取ることはないからね。</p> <p>この音色を聴いてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「明珍火箸」の音色を聞いて、どんな感想を持ちましたか。</p> </div> <p>ほんとやね。きれいな音色ですね。 癒される音ですね。</p>		<p>F きれい。 G 心がいやされる。 H なんとも思わへん。</p>
<p>9:50</p>	<p>「心かがやく」の P.52 を開けてください。 「明珍火箸」を読みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>火箸を作るのに、どんな作業をしますか。</p> </div> <p>イメージがわからない人もいるので、写真を見てください。手順で言うと、日づくりをし、何度も熱い鉄を打つ。 これが「やっこ」で鉄をはさみ、熱い鉄を打っている。</p>		<p>I 火作りをする J 火をたく K 熱い鉄を何回もたたく L 仕事場は熱い M 黙々と火箸を鍛える。 L 何百回も繰り返し鉄を鍛える O ひたすらに鉄を打つ P 手作業</p>
<p>9:55</p>	<p>明珍さんは、どんな状態になっていますか。</p>		<p>R 朝 6 時半から、火作りし、夜まで鉄を打つ。 S 腰をかがめてしんどい。 T 仕事場はしんどい。 U 休息がなければ過酷な作業に耐えられない。 V 明珍さんの手はタコが岩のよう。 W 岩のような分厚い手。 X つらくて、大変な作業。</p>
<p>10:00</p>	<p>続きを読みます。 明珍火箸の歴史を整理してみましよう。 ・明珍家は、戦乱時代に何を作っていましたか。</p>		<p>C 鎧や兜を作っていた。</p>

	<p>・江戸時代になって、戦がなくなり平和な世の中になり需要が減り、鎧や兜は、何に変わりましたか。</p> <p>・火鉢で暖を取っていたので、火箸が必要でした。でも、燃料革命により、今は、火鉢が何に変わりましたか。</p> <p>・そこで考え出されたのが、何ですか。 明珍さんが、生まれ育った家が人手に渡る経験をし、鉄を鍛える技を残して生きてきたと強く思った。そして、火箸4本を組み合わせ、風鈴にした。</p> <p>・近年、古代花器セットやチタン製の鈴、名潤琴を考えている。 その時代の流れの中で、鉄を打つ技術をいろいろと変化させてきた。</p>	<p>F</p> <p>S</p> <p>M</p> <p>P</p>	<p>火箸。</p> <p>ストーブ。 エアコン。</p> <p>風鈴</p>
10:05	<p>そんなに大変な作業にも関わらず、 楽な仕事でないのに、明珍さんは、やり続けられるのはなぜだと思いますか。</p> <p>班になって、話し合いをしてください。班長が司会をし、連絡係がホワイトボードにみんなの意見をすべて書いてください。10分与えます。はじめてください。</p>		
10:15	<p>では、話をやめください。 ホワイトボードを黒板の所に置きます</p> <p>1班</p> <p>2班</p> <p>3班</p>	<p>1班</p> <p>2班</p>	<p>明珍家の技を残す強い思い。 伝統を守るため。 機械では出ない、手作業でしか出ない音を出したい。 意地。</p> <p>伝統を守るため。 いいものを作りたいという熱い思い。 自分にしか出せない音。 明珍さんの熱い思い。</p> <p>800年間続いているので、伝統を引き継</p>

10:25	<p>4班</p> <p>5班</p> <p>6班</p> <p>あなたなら、伝統文化を引き継ぎますか。</p> <p>引き継がない。 何故ですか。 なぜ、めんどくさいと引き継がないのですか。 800年間も続いているのに。 いややからではなく、そこをもっと考えてください。</p> <p>52代も続いているやで。伝統がなくなってしまうで。</p> <p>引き継ぐ。こんなに大変な仕事なのに、何故ですか。 自分のしたいことがあるではないの。それはどうするの？ 自分のことはあきらめるの？</p> <p>引き継ぐ。 いややのに、なぜ引き継ぎますか。</p>	<p>3班</p> <p>4班</p> <p>5班</p> <p>6班</p> <p>Y</p> <p>Y</p> <p>Y</p> <p>B</p> <p>D</p> <p>N</p> <p>ぐ。 その家に生まれたから仕方がない。 欲を出したらよいものを作れない。</p> <p>使命感。 伝統を残すため。 明珍家を守るため。 プライド。 生活するため。</p> <p>伝統を守るため。 誇り。 職人魂。</p> <p>明珍さんの生き方そのもの。 自分の儲けではない。 この音を聞かせたい。 でき上がった時、喜びがある。 鉄を打つ技を残したい。</p> <p>いやや。しんどい。</p> <p>めんどくさい いややから。</p> <p>引き継がない。 自分のしたいことがあるから。</p> <p>800年の歴史がなくなるから。 あきらめる。</p> <p>はい。喜んでくれる人がいるから。 このきれい音色を出す火箸をつくりたいから。</p> <p>いややけど、明珍家に生まれたから。 52代も続いたから、それを絶やしてはいけない。</p>
-------	--	--

	<p>やりたいことはあきらめるの？ 仕方がないで納得できますか。</p> <p>引き継ぐ。 なぜ？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたは伝統文化にどう関わっていきま すか。</p> </div> <p>春日町にある「お祭り」や「戦国太鼓」な どいろいろあったね。丹波市にも伝統文化が ある。その伝統を引き継ぐために、あなたは どう関わっていきますか。</p>	<p>K</p> <p>Z</p> <p>G</p> <p>T</p> <p>U</p> <p>A</p> <p>W</p>	<p>仕方がない。 自分の代で終わらせたくない。</p> <p>機械では出せない音が出せる。 儲けではない。 明珍さんのような職人魂。</p> <p>*各班を回りながら、数人に問い返しをし 意見を聞いた。すべて書きあげていま せん。</p> <p>地域の行事にまず参加する。 昔からあるものを大切にしていく。 春日も、古きものを新しいものに置きかえ ていくかもしれない。 伝統文化が消えないようにしたい。 もっと地域の文化を知る。 地域の文化を広める。</p>
<p>10:32</p>	<p>今日の授業を振り返りながら、自分の考えを書 いてください。</p> <p>書いたプリントを集めます。</p>		

生徒の感想

- ・自分がそこに生まれて、「先の人のことなんかわからない。」「やめたってどうにもならないやろ。」と思うけど、代々受け継がれてきた文化に親しみを持ち、この仕事につき、兜や鎧からいろいろなものに変えているのがすごいと思いました。前まで作っていたものが使われなくなったら、火箸、そして、風鈴、楽器に変え、また新しいものを作って、伝統を引き継いでいこうとしているのがすごいと思った。何百年も受け継がれていくんだったら、私も「やろうかな」という気持ちになれる気がしました。
- ・文化についてもっと知りたいと思った。明珍火箸から風鈴に変わったり、今まで長く続いてすごいなと思った。自分なら引き継いでいきたいと思った。
- ・明珍さんのすごさが分かりました。800年の歴史を守りながら、毎日もくもくと作り続けるのは、私だったら嫌になって投げ出していると思います。それを続けている明珍さんはすごいと思います。私の町にも、神輿や黒井城祭りがありますが、私は、旗持ちをしたり神輿に乗ったりといろいろなところで昔ながらのものに関わることができればいいと思いました。
- ・兵庫県の有名なものや昔から続いているものをあまり知らなかった。明珍火箸と言われても、何のことかわかなかったけど、今日の勉強で少しわかりました。丹波市の有名なものを少しずつ知っていったらと思います。風鈴の音色もとてもきれいでした。
- ・僕がもし明珍家に生まれていて、「火箸とか風鈴を作る仕事を受け継いで」と、言われたら、多分受け継がないと思います。その理由は、しんどいし、だるい、何よりも自由時間がないからです。でも、明珍家の人はこのしんどい仕事を受け継いでいるので、すごいと思いました。僕も将来仕事を選ぶときに簡単で職業とかもあるけど、その時に楽なところだけでなく、しんどいところも行ってその人たちの苦勞も知りたいです。
- ・もしかしたら、残されなかった、受け継がれなかった伝統もあると思うので、もったいないなと思いました。今あるものを残していった方がよいと思います。
- ・私は、この明珍家の伝統を「引き継がない」といったけど、他の人の意見を聴いたり、もう一度考えてみると、伝統を引き継ぐのは、大切だと思いました。最初は、鎧と兜だったけど、時代の流れに合わせて、作りものを変えているのはすごいです。
- ・800年の歴史があることを知ってびっくりしました。その歴史は今までの先祖の人たちが熱く手が痛くて疲れる仕事だけど、つないでいって今受け継いでいる人がいるので、伝統を残そうとする熱い思いがあることはわかりました。私は、自分のやりたい仕事を頑張りたいと思います。
- ・大変な仕事だからこそ、やりがいがあり、その仕事をするのを誇りに思えると思います。日本の伝統を未来につなげることも大切な仕事だと思います。機械を使えるようになって、まだ続けている仕事を大切にしたいと思いました。

- ・今までも昔ながらの手作業でしんどくても頑張り続けることができるのは、この家に生まれてきた誇りがあるからだと思います。私たちの町にも伝統文化があることを知ったので、受け継ぐまでは私はできないけど、その文化の歴史を知ったり、知らない人に広めたりして、私も守っていける存在になりたいと思いました。
- ・大変でも一つでも多く日本の文化を残していきたいです。
- ・お金儲けとかそういう考えじゃなくて、伝統文化の一つだし、風鈴にすると、とてもきれいな音がして買ってもらう人を喜ばせたいと思うし、いままで受け継いでくれた人たちの思いを無駄にしたくないと思います。熱いし、疲れるし、手は痛いと思うけど、「明珍火箸」は完成したときは嬉しいと思うので、私なら受け継ぎます。
- ・52代も続いたこともそうだし、何より「めんどくさい」「いやだ」と受け継ぐか受け継がないかを悩んだのは、自分だけでなく、きっとご先祖様も思ってきたのではないかと思います。それでも、受け継いだのは、やはり、この明珍家に生まれてきた使命だったと思います。
- ・受け継ぐことは簡単だと思っていたけど、とてもしんどいことなんだと思いました。丹波市の伝統文化をもっと知りたいです。

授業記録から見えてきたこと

- ・火箸など、伝統文化を知らないなので、そのもの自体を説明するのに、時間がかかる。
- ・伝統文化を知らないなので、イメージがわからず、考えるのが難しかったようだ。絵や写真で訴えるもので説明の時間を減らす工夫をする必要がある。説明が多くなると、話し合いの時間が減る。
- ・何について考えさせるかをはっきりさせることが大切で、多様な意見を出せるようにする。
- ・読み取りだけにならないようにする。
- ・授業記録を見ると、教師はしゃべりすぎになるので、我慢が必要である。待つ姿勢で、生徒に意見を吸い上げる。
- ・ほしい答えになるような問い返しをして、正解を出すようなオーラにならない。
- ・「どう関わっていくのか」と自分のこととして考えさせる
- ・その人に生き方を感じ、「あなたならどうするのか?」「なぜできないか?」を考えさせる。
- ・「古いものはいる?いらぬ?」を考えさせるのも良い。
- ・問い返しをしたことで、自分のこととして考えられた生徒がいた。
- ・生徒が深く考えられるようになった。
- ・ローテーション授業をすることで、授業を深く考えなおすことができた。
- ・伝統文化について知らない生徒が多い。知ることから、自分たちの町を考えるきっかけになった。

第2学年道徳学習指導案

指導者 村井 隆宏

- 1 日 時 平成29年10月19日(木) 3校時
- 2 学 級 2年3組 31名
- 3 主 題 向上心・個性の伸長 (1-5)【A-3】
- 4 資 料 『「わからないこと」の大切さ』【出典：心かがやく(兵庫県教育委員会)】

5 ねらい

「わからないこと」から逃げないことが大切だという言葉を通して、苦手なことにもくじけず、逃げずに向き合おうと努力する実践意欲と態度を育てる。

6 指導にあたって

(1) 生徒観

本学級の生徒は、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組み、教師の話の話を聞くことができるが、挙手などをして進んで発表するという積極性には欠ける面がある。個人の意見や思いを持っている生徒が多いため、感想文では個性的な面を見ることができる。

(2) 教材観

本教材は、中学校で行われた玄田有史氏の講演会の一節を文章化したものである。「勉強する意味が分からないからやる気がしない」という質問に対して「それでいいと思うよ」と返し、人生では様々なわからないことに出会うが、学校で勉強することによって「わからないことから逃げない」練習をしていると説く文章となっている。この教材を通し、自分自身の日常の中で出会う「わからないこと」に対して、実際どう向き合っているのか、またどうすれば逃げずに向き合えるのかについて具体的に考え生活に活かすことができる教材である。

(3) 指導観

やらねばならぬ事、やった方がよい事は分かっているが、なかなか行動に移せないという経験は誰もがするものである。指導にあたっては、「勉強する意味が分からないからやる気がしない」という男子生徒の素朴な意見を通して、苦手なことや嫌なことに対してどう向き合おうべきなのか考えさせたい。まず、身近にあるわからないことの代表として勉強に着目し、勉強に対する思いや必要性について個人の意見を考えさせる。次に、その必要性と意欲とがうまく両立できていないことを前提に、なぜ学校教育というものを受けているのか、グループで意見を交わして思考させる。そして、本文を読み、勉強などの「わからないこと」を目の当たりにした時、逃げずに向き合う練習をしているという筆者の逆説的な意見を紹介し、自分なりの向き合い方に気づかせたい。これらの学習活動を通して、自分が「わからないこと」に出会ったときにどう向き合うのか考えられる、実践意欲と態度を育てたい。

7 準備物 ホワイトボード、感想用紙

8 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容確認をする。 	<p>『「わからないこと」の大切さ』のタイトルだけ紹介し、発問する。</p>
展開	<p style="text-align: center;">◎「勉強ってなぜ必要なの？」と思う人は静かに手を挙げましょう。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分からないから意味がない」 ・「めんどくさい」 ・「テストで点数取らないと怒られる」 ・「遊びたいのに、時間を取られる」 ・「勉強しても役に立たない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度手が挙がったら、意見を発表させる。 ・5～6人の意見を聞き、黒板に書く。
	<p style="text-align: center;">◎なんで中学生は学校で勉強することになっているのでしょうか？ (なぜ教科の学習をするのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班でグループを作り、相談する。 ・ホワイトボードに意見をまとめる。 <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「受験(進学)するために必要」 ・「法律で決まっている」 ・「今までの伝統がある」 	<p>※ホワイトボードを渡す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10分ほど相談時間を取り、机をもとに戻してから班長に発表させる。
	<p style="text-align: center;">◎「勉強なんてしなくてもいいんじゃないか？」と思う人は静かに手を上げましょう。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大半は上げるが、一部はそのままである。 <ul style="list-style-type: none"> ・本を開き、本文を目で読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を開き、玄田有史さんのことについて触れ、範読する。 ※勉強というのは、わからないことだらけ。 ※世の中に出ると、わからないことだらけの日常を生きていく。 ※「わからない」ということから逃げないことが大切。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想を書く。 回収し、名前を伏せて紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の思いを伝える。 ※「玄田有史さん」の話はひとつの解釈である。それぞれの理由があつて良いが、確実に言えることは、人生を生きる上で人間は確実に困難に遭遇すること。どんな困難に対して「頑張つて乗り越えよう」と思えるためには、壁を乗り越えた経験がないと難しい。勉強もひとつの困難であり、みんなで乗り越えていこう。 <p>生徒それぞれの考え方を聞き、思いの違いや共通点を共有する。</p>

教材分析シート 主人公が道徳的価値の自覚をする場合

<p>教材名(出典)</p> <p>「わからないこと」の大切さ</p>	<p>5 主題・内容項目</p> <p>向上心・個性の伸長(1-5)【A-3】</p>	
<p>1 教材を読む(骨格をつかむ)</p> <p>①生き方を自覚したのは誰か(主人公)</p> <p>②生き方を自覚することになった出来事はなにか</p> <p>③生き方を自覚するのはどこか</p>	<p>中心発問以外の場面の発問(場面の数は教材による)</p> <p>予想される児童生徒の反応(答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分からないから意味がない」 ・「めんどうくさい」 ・「テストで点数取らないと怒られる」 ・「遊びたいのに、時間を取られる」 ・「勉強しても役に立たない」 	
<p>2 <構図></p> <p>before</p> <p>勉強する意味が分からないから、する気が起きない</p> <p>出来事(助言)</p> <p>「それでいいと思うよ。」</p> <p>「わからないことから逃げず、あきらめずにウロウロしているうちに、「こんなことをしたい」という希望にも、出会うことができるので。」</p> <p>after</p> <p>自覚</p>	<p>6 場面</p> <p>『なんで中学生は学校で勉強することになっているのでしょうか』</p> <p>『「受験(進学)するために必要」 ・「法律で決まっている」 ・「今までの伝統がある」</p>	
<p>3 中心発問</p> <p>『「勉強しなくてもいいんじゃないか。」と思う人は、静かに手を上げましょう。』</p> <p>個別の発想や思想を心の中に思い浮かべた上で、玄田さんの考え方を紹介する。</p>	<p>7 ねらい</p> <p>(A) 「わからないこと」から逃げないことが大切だという言葉により</p> <p>(B) 苦しいことにもくじけず、逃げずに向き合おうと努力しようとする</p> <p>(C) 道徳的実践意欲を育てる</p> <p>※書き方 (A): 教材の活用を簡潔にする。(主人公が道徳的に変化する場合は、「出来事(助言)」の部分抜き出して表記する。) (B): 内容項目から適切に抜き出す。 (C): 道徳性の要素(道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度)を入れる。</p>	
<p>4 中心発問に対する予想される生徒の反応(答え)</p>	<p>8</p> <p>自分の目標に向かって努力し、よりよい自己を表現しようとすることは大切な事である。しかし、時には目標に向かう意欲や意味を失ったり、目標そのものが分からなくなったりすることもある。苦しくても、くじけず努力して向き合い、また希望を持つことの大切さや困難を乗り越える人間の強さについて考える事を通して、生徒の中により積極的で前向きな自己が形成されることが大切である。</p>	

資料名

『わからないこと』の大切さ

兵庫版道徳教育副読本 「心 かがやく」

内容項目

個性の伸長 1-(5) (A-(3))

時間	教師	生徒名等	児童生徒
10:45	わからないことはどんなこと？ 「勉強が好きの人」 「勉強が好きでない人」 「なぜ勉強って必要なの？」と思う人？	A B C D E	先生の給料。 3年生の問題。 勉強。 一人だけ挙手 多数挙手 3人挙手 将来役に立つのかな。 勉強する価値と意味が・・・。
10:52	班活動 「なぜ中学生は学校で勉強することになっているのでしょうか。」		
11:10	発表	1班 2班 3班	義務教育だから。 勉強が苦手な人がいるから。 仕事につけるように。 学ぶことが多いから。 考える力を鍛えるため。 集中力を身につける。 大人に言われるから。 将来役に立つから。 関わりをもつため。 賢くなるため。 入試に受かるため。 収入を得るため。 先生が収入を得るため。 生活を楽にするため。 ダメな人になってしまうから。 基本的な知識を身につけるため。 社会に出たときに恥ずかしくないようにするため。 将来騙されないようにするため。

11:20	「わからないことの大切さ」 範読 教師の思いを伝える。	4 班	義務教育だから。 コミュニケーションを高めるため。 将来役に立つから。 大事だから。 国民の義務。 みんなで勉強するため。 将来の国のため。 みんな平等。 ちゃんとした知識を身につける。 よくわからない。 友達を作るため。
11:27	感想を書く	5 班	勉強する取り組みが将来役に立つ。 義務教育。 高校受験に受かるため。 考える力・聴く力を身につけるため。 社会性を身につけるため。
		6 班	義務教育だから。 法律で決められているから。 就職に必要だから。 社会に出て恥をかかないため。 知恵を養うため。

生徒感想

・私は、今年の文化祭で劇をします。役割は音響だけど、初めてするのでどうすればいいかはわかりません。でも、今日みんなで話し合ったように、同じグループの人と一緒に考えていったら、コミュニケーションが取れたり、新しい発見があったりするかもしれないなと思いました。普段生活をしていてわからないことはたくさんあるけど、それも大切なんだなと今日知ることができました。

・自分もたまに勉強って意味あるのかなと思うことがありました。でも将来役に立つし知識も身につくと班の意見も出ました。そうだなと思いました。意欲を持つことで成長できるし、できるようになると感じたりもします。部活や勉強も意欲的にしたいです。

・勉強をしている内容は将来役に立たないかもしれないけど、私が「わからないこと」を考えようと思うのは、今まで勉強してきたからできることだと思いました。勉強の内容をそのまま活かすのではなくて、自然にいろんな力がついていくんだと思いました。今まで

より勉強する意味がわかりました。

・生きていく上で、壁にぶつかることも多いと思うけど、今の自分が思う「カッコいい大人」になるためには、それを乗り越えないといけないと思います。でも、意欲がなければ1つも乗り越えられないと思うから、まずは恥を捨てて、どんなことにも前向きにやっていきたいと思います。意欲を持っていたら、人生が明るく楽しくなると、私は思います。だから、今から意欲を持つ方法を考えて、それを実行できるようにしたいです。

・自分も勉強について分からないことがあったりして、本当に将来に役に立つのかなと思ってたりしたけど、よくよく考えたら、こうやって考える力も勉強してきたからできることであって、自分たちが意識していないところでも役に立っていると思うし、今も勉強しないと分からないことがいっぱいだけど、その勉強する取り組みが自分のためにもなるから、そのために自分たちは勉強するんだと思います。

・ぼくは「わからないこと」の大切さの授業をうけて、分からないことから逃げないことが大切だと分かりました。分からないから逃げるのではなく、分からないからするのがいいと思いました。知らないから何もしないではなく、知らないから知る努力をしようと思いました。

・勉強に対しての意欲の出し方とは、「わからないこと」そのものだと思う。自分が「ん？難しいな〜。」と思ったとき、人は必ず先生や友達に教えてもらおうし、僕も兄に聞く。聞くと答えが返ってきて、それに納得がいくと、勉強って楽しいとはじめて思える。特に学校で勉強すると、同じ班やクラスの子で意見を交換し、自分とは違った考えを知ることができる。そしたらまた、違う子の意見について「わからないこと」が出てくるし、それをさらに聞いて考えることができる。こういうことが大切だと思う。

・私は皆と協力する意味が分からなかったです。勉強で慣れたから解決できたのかもしれませんが、文化祭などの行事があると、この「協力」という言葉に度々悩んできました。自分はやる気がある。皆もやる気がある。一部の人はやる気がない。そんな状況を「協力しよう」の言葉だけでやりくりしようと考えている人の気持ちが分からなくて、したくないならしなくていい、いらぬ人は切り捨てたらいいのに、という事を考えていて、なぜそこまで皆でしたがるのかと尋ねると、このクラスで良かったと誇れるから、感動を分かち合いたいと帰ってきて、初めて納得しました。私はこの「わからない」から逃げなかったからこそ、皆と協力したいと思えたんじゃないかなと思います。

授業記録から見えてきたこと

・勉強について質問したとき、生徒から「将来役に立つのか」「する意味と価値が分からない」という意見が返ってきたが、それを深めるには十分な問い返しや発展ができなかった。
・話し合い活動は活発に意見交換がされ十分にできたが、資料の活用がほぼ本文を範読したのみとなってしまう、もう少し筆者の考えや思いについて感じたり考えたりする活動を取り入れるべきだったかもしれない。

第3学年道徳学習指導案

授業者 石塚 翔大

- 1 日時 平成29年10月17日(火) 1校時
- 2 学級 3年1組 35名
- 3 主題 家族愛 (4-6)【C-14】
- 4 資料 『いもうと』【出典：心かがやく(兵庫県教育委員会)】
- 5 ねらい 妹が死ぬのではないかという不安の中で夢中になって回復を祈り続け、妹の死を目の当たりにして涙があふれるように流れ出る哲郎を通して、家族深い絆で結ばれていることを感じる道徳的心情を育てる。

6 指導にあたって

(1) 生徒観

本学級の生徒は、明るく授業中の発表などにも積極的であるが、発表者が一部に限られてしまうことがある。自分の意見を持つことに苦手意識を感じている生徒も少なくない。そのことは、道徳の授業や感想にも見られ、2年時から課題克服に向け、自分の考えを安心して発言できる集団作りに努めてきた。そのため、小グループでの話し合い活動においては、実生活と結び付けて考えた自らの意見を周囲に伝えることができる生徒が増えつつある。

(2) 教材観

大病を患った妹の回復を祈りつつも、兄としての無力感に打ちのめされている哲郎は、突然の妹の死に直面する。大きな悲しみの中にある哲郎が、これまでの妹や兄との関わりを振り返る中で「家族の深い絆」や「生命への畏敬の念」を思い知る。この資料は、倫理学者の和辻哲郎が、実際に体験した家族との別れの場面を描いたものである。妹や兄という身近なはずの家族の身に突然の不幸が訪れたことで、これまでの関係を見つめなおすことを迫られる。そうした家族との絆を再確認する体験をした主人公の思いについて考えることで、生徒一人一人が、自らの家族との関わり方を見つめ直すことができる教材である。

(3) 指導観

家族は大切にしなければならない、ということは誰もが知っていることである。しかし、親や兄弟姉妹と自らの関係を客観的に見つめ、日ごろから感謝の気持ちを伝えたり、突然の別れに備えて思いを確かめ合うということは、実際にはできないことの方が多い。指導にあたっては、哲郎の心情の変化に着目するだけでなく、哲郎が持ち続けた心をとらえ、それぞれの場面において哲郎がどのような思いを抱いていたかもとらえさせたい。妹が死ぬのではないかという不安から、夢中になってカラスに石を投げた哲郎の「祈りの心」は、誰しもが抱く人間らしい心であり、生徒が共感できるものであると思われる。生徒が本来持っている家族への暖かい心に光を当て、自らの言葉で表現できる機会としたい。

7 準備物 ワークシート

8 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の資料に興味を持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>授業中の教室に、「家族が大変だ」という連絡が入るとあなたならどう感じるでしょうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ このような状況が突然自らの身に降りかかるかもしれないということを認識させ、本時の資料に興味を持たせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が資料を範読する。 <p>・ 汽車に揺られながら兄を心配する主人公の気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>加古川から乗った汽車に揺られながら、哲郎はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兄を心配している。 ・ 兄が死んでいるかもしれないという不安。 ・ 兄が無事であってほしい。 <p>班でグループを作り、考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妹を気にかける主人公の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>仁豊野の家から加古川の家に帰るとき、どうして哲郎は妹のことを心残りに感じたのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妹が近寄ってくれなかった。 ・ 他人のような扱いで悲しい。 ・ 自分のことを忘れられていて悲しい。 <p>グループで、考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラスに夢中になって石を投げ続ける主人公の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>カラスに夢中になって石を投げ続ける哲郎は、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石が当たらないと妹は死んでしまうという恐怖。 ・ 石が当たれば妹の病気はきっと良くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を黙読する。 ・ 哲郎の家族構成について捉ませる。 ・ 哲郎の状況を捉かませる。 <p>・ 主人公が、兄がかげがえのない存在であるとあらためて実感し、回復を祈っていることをおさえる。</p> <p>5～6人の意見を聞き、黒板に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が兄を頼っている気持ちから、主人公が妹への思いを強めていることをおさえる。 <p>5～6人の意見を聞き、黒板に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妹が死ぬという不安と恐怖を取り除こうとするとともに、妹の回復を祈り続ける主人公の家族を思う心情に共感させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・妹を助けたい。 <p>グループで、考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・涙があふれるように流れ出たときの主人公の気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>涙があふれるように流れる哲郎は、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・妹が死んでしまって悲しい。 ・兄らしい行動ができなかった後悔。 ・ただ見守る事しかできなかった悔しさ。 <p>グループで、考えさせる。</p>	<p>5～6人の意見を聞き、黒板に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妹の死を目の当たりにして悲しみの淵にある主人公が、家族は愛情によって深い絆で結ばれていることを感じていることをおさえる。 <p>5～6人の意見を聞き、黒板に書く。</p>
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・哲郎が妹の死から、なにを考え、何を思ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の意味や絆の大切さをおさえる。

教材分析シート 主人公が道徳的価値の自覚をする場合

教材名(出典)	いもうと	-和辻哲郎-	出典「心かがやく」	5	主題・内容項目	家族愛 4-(6) (G-(14))
1	教材を読む (骨格をつかむ)	①生き方を自覚したのは誰か(主人公) ②生き方を自覚することになった出来事はなにか ③生き方を自覚するのはどこか	和辻哲郎 兄の回復と妹の死という2つの経験 兄が重体から回復したとき 妹が死んでしまったとき	5	中心発問以外の場面の発問 (場面の数は教材による)	予想される児童生徒の反応(答)
2	<構図> before 兄が重体から回復する	出来事(助言) 妹が死にかけている 妹の死に直面し、妹が自分にとってかけがえのない大切な存在だと知る	after 涙があふれるように流れ出る哲郎が、家族が深い絆で結ばれていることを感じる	6	場面 仁豊野の家から加古川に帰るとき、どうして哲郎は妹のことを心残りに感じたのでしょうか。	兄を心配している。 ・兄が死んでしまってもいいという不安。 ・兄が死ぬかとも思い、兄との思い出を考えていた。 ・兄はすでに死んでしまっているのではないかとという恐怖。 ・兄が無事であったらいい。 ・妹が近寄ってくれなかった。 ・他人のような扱いで、悲しかった。 ・自分のことを忘れられていて悲しい。 ・妹が死んでしまっても悲しい。 ・兄らしい行動ができなかった後悔。 ・ただ見守ることしかできなかった悔しさ。
3	中心発問	ガラスに夢中になって石を投げ続ける哲郎は、どんな気持ちだったのでしょうか。	自覚	7	ねらい (A) 妹が死にかけているという状況で (B) 家族の深い絆を認識しようとする (C) 道徳的心情を育てる	(道徳的に変化する)主人公を通して
4	中心発問に対する予想される生徒の反応(答え)	石が当たらないと妹は死んでしまうという恐怖。 ・石が当たれば妹の病気はきつと良くなる。 ・妹を助けたい。 ・大切な人を失いたくない。 ・妹に死んでほしくない。 ・自分の気持ちを紛らわせる。	補助発問(道徳的価値をさらに深く考えられるように問を準備する) 石を当てることによって、妹が助かる保証はない。なぜ、主人公はこのような行動をとったのだろうか。	8	※書き方 (A): 教材の活用を簡潔にする。(主人公が道徳的に変化する場合、「出来事(助言)」の部分抜き出しで表記する。) (B): 内容項目から適切に抜き出す。 (C): 道徳性の要素(道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度)を入れる。	本時で考える道徳的価値(*上記「7」の(B)の理解)

資料名

いもうと 兵庫版道徳教育副読本 「心 かがやく」

内容項目

向上心・ 「家族愛」 4－(6) (C-(14))

時間	教師	生徒名等	児童生徒
8:45	もし、君なら何を不安に思いますか。	A	受験。就職活動。
		B	「いじめ」は経験すると悲しい気持ち。
8:50	今日は、人との別れ「死について」ですが、突然「お母さんが倒れたと連絡があったらどう思いますか。	C	すぐに帰ろう。大変。
		D	不安。
9:00	主人公は、ちょうど君たちの2つ年上ぐらいで、親元を離れて下宿の生活をしていました。 資料範読		
9:10	班活動 汽車の中で主人公はどう思ったか。 (自分の意見を出し合う)	A	兄のことを聞いて帰っていた。
		E	兄が大丈夫か心配していた。
		A	もうすでに兄が死んでいるかもしれない。
		F	兄がいない生活を想像して恐ろしいと思った。
9:15	なぜ、お兄ちゃんがいなくなったら怖いのか。	A	たくさんの思い出があったから。
		G	大事な人。大事な存在。
		H	呼んでも返事がなかった。
		I	少し離れていた間に忘れられていたことが悲しい。
	なぜ、いもうとへの心残りがあるのですか。	J	他人のように扱われていた。
9:20	このときの主人公の気持ちを考える。 カラスに意思を投げる主人公の気持ちを考える。	J	いもうとも大事な存在。
		A	早く治してほしい。
		G	石が当たらなければ死ぬという恐怖をふりはらう。
		K	当たらないといもうとが死ぬと思った。
		J	大事な存在を離したくない。
		I	死ぬかもしれないという恐怖に追い込まれている。

9:30	涙があふれるような主人公の気持ちがどんな気持ちでしたか。	A J L M N J A	最後の希望。 最後まで兄らしいことがしてやれなかった。 大切な存在を一つ失った。 忘れられない、なんとも言えない気持ち。 離れていたいもうとに、何もしてやれなくて申し訳ない気持ち。 いもうとのために何もできなくて後悔している。
9:34	家族の意味や絆の大切さを知りこれからが前向きに生きていくしかない		

生徒感想

・僕には妹がないから、最初はよく分からなかったけれど、班での話し合いを進めるなかで、「もし、自分に妹がいたら・・・」という視点をもって、哲郎の行動をとらえることができました。家族の大切さをあらためて感じ、自分の生活を見つめ直そうと思います。

・私には姉がいて、けんかをしたときに「いなくなったらいいのに」と思うことがありました。この「いもうと」を読んで、私も哲郎さんと同じように、姉を頼りにしていることがあるのだと気づきました。家族の絆は一言で語れるものではありません。それを思い続けることに気持ちを向けていきたいです。

・以前、祖父と祖母が亡くなった時に、色々な思い出があふれてきて、泣いて悲しくなりました。亡くなったあとに、もっと色々なことを一緒にしたかったと後悔しました。哲郎さんもきっと同じだったと思います。私には、たくさんの家族がいます。今生きている家族にはあとで後悔しなくて済むように接していきたいです。

・この授業を通して、僕は、後悔をしてはいけないと思いました。大切にしていた家族を失ったとき、主人公の哲郎は、それまでの時間や自らの行動を悔やんでいました。そこから僕たちが学ぶべきことは、後悔しない生き方をする事の大切さだと思います。後ろを振り返りながら生きるより、前を向いて生きたいと思います。

・自分の身近な人との別れは、いつか必ず来ます。そのことは分かっているけれど、実際にそうなったときのことを想像することは難しいことだと思います。哲郎の身におこったことを知り、私は、家族や大切な人と一緒に居られる今を大切にしようと思いました。もし突然の別れが来たとしても、心残りがないように過ごしていきたいと思います。

授業記録から見えてきたこと

- ・班活動として、意見交流をしたが個人の意見が反映されていないことが多い。
- ・導入での発問のしかたで、生徒の思考を揺さぶるような展開があればよい。
- ・道徳の時間に限らず、生徒間での話を聞く態度を養う必要がある。

ローテーション授業を行っています。

平成 29 年 9 月 28 日

春日中学校は本年度、県教育委員会から食育推進校の指定を受けていることは以前お知らせしたとおりです。さらに文部科学省の「道徳教育実践研究事業」の指定も県教育委員会から受けています。こちらは地域指定ということで丹波市春日地域が指定地域となっており進修小学校と共同で研究推進の取組を進めています。2学期になり体育祭も終わって一段落ついたこの時期に道徳の「ローテーション授業」に取り組んでいます。

「ローテーション授業」とは、1学年3クラスの本校の場合、3つの教材(資料)を決め、3人の教師がそれぞれ自分の担当する教材を使って3クラスで授業を行うというものです。今回の場合では、兵庫県の道徳教育副読本の「夢への扉を開ける鍵」という教材を用いて井上先生が9月22日に2組で授業を行い、9月25日には2組で行い、今日(28日)は1組で行いました。同時に、岡田先生は「キャッチボール」という教材で同様に3組、1組、2組と授業を行いました。長澤先生は「ほんとうのカッコよさ」という教材で1組、2組、3組と授業を行いました。表にすると下のようになります。

	9月22日	9月25日	9月28日
1組	ほんとうのカッコよさ	キャッチボール	夢への扉を開ける鍵
2組	夢への扉を開ける鍵	ほんとうのカッコよさ	キャッチボール
3組	キャッチボール	夢への扉を開ける鍵	ほんとうのカッコよさ

1つの教材で3度授業を行うことになるため、授業を行った反省点をすぐ次の授業に生かすことができます。1つの教材を用いて深く研究を進めることができます。私は、井上先生の「夢への扉を開ける鍵」を3回続けてみました。明らかに授業力が向上しているのがわかりました。3度目の今日はかなり道徳の授業らしくなっていました。生徒もよく考え、話し合ったり発表したりしていました。この後、2年生と3年生でも実施する予定で教材の選定とともに指導案の作成にかかっています。



【1年3組】



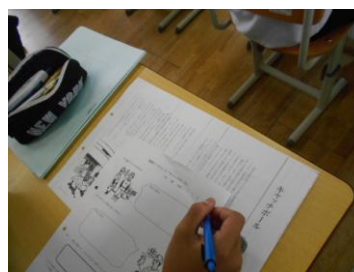
【1年2組】



【1年1組】



【班で話し合って発表】



【ワークシートに書きます】

ローテーション授業を始めました。

平成 29 年 10 月 12 日

先月 28 日に 1 年生での「道徳ローテーション授業」についてお知らせしたところ
です。「ローテーション授業」とは、1 学年 3 クラスの本校の場合、3 つの教
材(資料)を決め、3 人の教師がそれぞれ自分の担当する教材を使って 3 クラスで
授業を行うというものです。1 年生は学年の全教師が行うということで 2 巡目に
入りました。1 年生は次のような計画になっています。

	10 月 12 日	10 月 19 日	10 月 26 日
1 組	明珍火箸	合唱コンクール	まだ幕はあがらない
2 組	合唱コンクール	まだ幕はあがらない	明珍火箸
3 組	まだ幕はあがらない	明珍火箸	合唱コンクール

2 年生の計画は次の通りです。

	10 月 12 日	10 月 19 日	11 月 2 日
1 組	笛の音	ネパールのビール	分からないことの大切さ
2 組	分からないことの大切さ	笛の音	ネパールのビール
3 組	ネパールのビール	分からないことの大切さ	笛の音

3 年生の計画は次の通りです。

	10 月 12 日	10 月 17 日	10 月 19 日
1 組	将来のパートナー	運命の木	いもうと
2 組	いもうと	将来のパートナー	運命の木
3 組	運命の木	いもうと	将来のパートナー

1 つの教材で 3 度授業を行うことになるため、授業を行った反省点をすぐ次の
授業に生かすことができます。1 つの教材を用いて深く研究を進めることができ
ます。

今日は、3 学年とも 1 校時に実施されましたので担任以外の教師が分担して参
観し、記録を取りました。私は 3 年 3 組で石塚先生による「いもうと」の授業を
見ました。3 年 2 組の生徒達は班になってよく考え、よく発表していました。素
直に取り組んでいたという印象です。ただ、この和辻哲郎の「いもうと」とい
う資料は道徳の授業を行うのには扱いがなかなか難しいと感じました。年下の妹が
4 歳で亡くなるということから、主人公の悲しさ、家族への愛を感じ取らせるの
は、持って行き方が難しいと思いました。



【資料を読みます】



【話し合ったことを発表】



【発表を板書します】

おわりに

今年度、兵庫県道徳教育実践研究事業の指定を受け、研究主題を「自己の生き方を考え、よりよく生きることを学ぶ道徳教育の創造」として、丹波市立進修小学校とともに推進校として取り組んできました。

その中で、真っ先に指導計画の検討に取り組みました。そして、全体計画の中に新学習指導要領に掲載されている項目や特別活動及び各教科の視点を取り入れ、全領域で道徳教育の実践に向けたものを作成することができました。さらに、ローテーション授業の実施と授業記録及び教材分析シートの作成は、教師の指導力向上と授業の充実にも効果的でした。特に授業実践後、校内委員会で授業記録を基に教材分析や授業反省を行い、指導案を再構成するという取組を繰り返すことで、指導案が練り上げられ、指導が充実していくことを実感できました。

この取組を単年度で終わらせず、継続して発展させていくことが今後の課題であると考えます。特に、小学校での指導を中学校でどう生かすのか、指導の連続性や授業研究での連携を更に図っていくことが大切になります。また、校内での指導にとどまらず、家庭や地域と連携しての道徳授業を研究する必要があります。

私たちの取組は、まだ道半ばであり、今年度の成果と課題を土台に、さらなる高みを目指して、小・中の連携を図りながら、「よりよく生きる」自分を考えていく道徳授業を目指して取り組んでいきたいと思えます。今後とも関係の皆様には、ご指導いただきますようお願い申し上げます。